

第 16 回廃棄物学会研究発表会 参加案内

2005 年 10 月 31 日 (月) ~ 11 月 2 日 (水)

仙台国際センター

も く じ

特別企画

第 16 回廃棄物学会研究発表会の開催にあたって	2
特別シンポジウム	2

参加申込・会場アクセス・行事紹介

参加申込方法	3
会場へのアクセス・緊急時の対応について	3
行事案内	4
(1) 行事一覧	4
(2) 研究発表会 (口頭発表・ポスター発表)	4
(3) 平成 16 年度廃棄物学会賞受賞者記念講演	4
(4) 国際シンポジウムおよび国際セッション	5
(5) 展示 (行政、企業、市民部門)	5
(6) 若手の会	5
(7) 懇親会	6
(8) 施設見学会	6
(9) 小集会	8
発表ガイドライン	10

研究発表会プログラム、会場案内図

タイムスケジュール	12
セッションプログラム	13
会場案内図	32

ご 注 意 ~ 例年と異なる点があります。必ずお読みください。

- 参加申込について (詳細については、p3 および同封の参加申込方法をご覧ください。)
印刷版論文集をご希望の方は、事前申込みをお願いします。当日受付ではご希望に添えない場合があります。
事前申込みの締切りは、9月16日(金) (振込みは9月30日締切り) です。
- 発表方法について (詳細については、p10、11 の発表ガイドラインを参照してください。)
p13 からのセッションプログラムに「ポスター-1」または「ポスター-2」と記載されている場合は、ポスター発表です。
ポスター-1: 1日目発表、ポスター-2: 2日目発表で、その他は口頭発表です。
ポスター発表の場合は、発表ガイドライン (p11) を参照してポスターを作製し、当日持参してください。
口頭発表の場合は、プロジェクターでの発表が基本となります。事前に ppt ファイルの送付が必要です (締切り: 10月17日必着)。 OHP は基本的に用意しません。OHP の利用を希望される場合は 10月17日までにご連絡ください。 (詳細は p10 をご覧ください。)
- 施設見学会について (詳細は p6 をご覧ください。)
見学会の申込みは事前申込みを基本とし、定員になり次第、締切りとさせていただきます。
今年の見学会は A コース、B コースの 2 種類です。B コースは一般の発表時間と重なります。11月2日に発表や聴講の予定がある方は参加できません。プログラムでご自身の予定をご確認の上、お申込ください。
見学会への参加には、研究発表会への参加が必要です。研究発表会の事前申込みも併せて行ってください。
- 4 . 台風や地震などの緊急時の対応は、臨時ホームページ (携帯電話の web 閲覧機能に対応、p3 参照) でお知らせします。**

第 16 回廃棄物学会研究発表会開催にあたって

廃棄物学会東北支部支部長

第 16 回廃棄物学会研究発表会実行委員会委員長

溝口 忠昭

第 16 回廃棄物学会研究発表会が平成 17 年 10 月 31 日(月)～11 月 2 日(水)の 3 日間、青葉城址の麓(仙台国際センター)で開催されます。蔵王など東北の山々は雪の季節を直前にするものの、仙台はまだまだ紅葉が素晴らしい季節です。東北の地で、また昨年に続き、地方の支部が本格的に主体となって開催する研究発表会に是非多くの方々に参加して戴きたく、ご案内申し上げます。

通常の研究発表会とともに、「ごみ減量化の取り組み(地方からの発信)」をテーマにシンポジウムを開催し、また関連施設の見学会を計画するほか、市民、行政、企業の廃棄物に関する取り組みに関する展示も企画しております。ごみ問題の基本はその減量化にあります。東北地方には全国に誇れる優れた活動を進めている多くの自治体や企業があります。シンポジウムでは、宮城県及び岩手県知事による特別講演のほか、パネルディスカッションとして楽天やベガルタの試合時のごみ対策など、ごみ減量化の先進的な取り組み事例の紹介があります。また見学会では、義経ゆかりの中尊寺まで足を延ばします。現実のごみ問題を議論しながら、その一時を歴史のロマンに思いをはせ、また秋の味覚を満喫するというのはいかがでしょうか。

地方支部開催の研究発表会が今後定着して行く上でも大きな使命を担っていることを認識して関係者一丸となって準備を進めております。10 月 31 日にお会いしましょう。お待ちしております。

特別シンポジウム

テーマ : 「ごみ減量の取り組み ～地方からの発信～」

地方は中央のごみ捨て場ではない、と言われて久しい。地方をごみ捨て場にしない方策、それは言うまでもなく、ごみの減量である。

今回の研究発表会は、昨年に続き、地方の支部が本格的に主体となって開催する研究発表会である。このシンポジウムでは、ごみ減量化についての地方での取り組みを紹介して、全国的なごみ減量化の取り組みの一助になればと考えている。

まず、特別講演として宮城県知事からは、「持続可能な社会に向けたみやぎからのチャレンジ」と題して、岩手県知事からは、県境不法投棄事件を教訓とした今後の方向性等を「岩手県における資源循環型地域社会形成に向けた取り組み」と題して講演がなされる。

パネルディスカッションでは、いくつかの分野でのごみ減量化の先進的な取り組みについての報告がなされる。生活ごみについて、仙台市から、事業ごみについて、リコー東北(株)から、そして、楽天やベガルタの試合の際のイベントごみについて、MELON から、それぞれ減量化の取り組みが報告され、その成果や課題などについて議論する。

日 時 : 11 月 1 日(火) 15:15 ～ 17:30

場 所 : 2 階 大ホール

内 容 : (1)特別講演

「持続可能な社会に向けたみやぎからのチャレンジ」

浅野史郎(宮城県知事)

「岩手県における資源循環型地域社会形成に向けた取り組み」

増田寛也(岩手県知事)

(2)パネルディスカッション

コーディネータ : 長谷川信夫(東北学院大学)

パネリスト : 広島紀以子(仙台市環境局)

土井 正治(リコー東北(株))

小澤 義春(MELON : みやぎ・環境とくらし・ネットワーク)

行事案内

行 事	日 時	会 場 懇親会以外は仙台国際センター	備 考
特別シンポジウム	11月1日(火)15:15-17:30	大ホール(2F)	一般公開企画
廃棄物学会賞 受賞者記念講演	10月31日(月)14:00-14:15	第3会場	
	10月31日(月)14:00-14:15	第4会場	
	10月31日(月)14:00-14:15	第5会場	
研究発表会	10月31日(月)10:00- 11月1日(火)9:00- 11月2日(水)9:00-	P12にてご確認ください	
ポスター発表	ポスター-1:10月31日(月)12:30-14:00 ポスター-2:11月1日(火)11:10-12:40	桜(2F)	ポスター掲示期間: 10月31日11:00-11月1日17:00 *11月2日10時まで掲示して 頂いている発表もあります。
見学会	A:11月2日(水)13:00-17:30 B:11月2日(水)8:30-16:30	P6をご覧ください	
国際シンポジウム	10月31日(月)16:15-18:30	第5会場	使用言語:英語
国際セッション	10月31日(月)12:30-14:00	桜(2F)	ポスター掲示期間: 10月31日11:00-11月1日17:00 *11月2日10時まで掲示して 頂いている発表もあります。
小集会	部会によって異なります。p8-p9をご覧ください。		
展示 (行政、企業、市民部門)	10月31日(月)-11月2日(水)	2階(詳細は未定)	一般公開企画
若手の会	10月31日(月)18:30-20:45	第6会場	
懇親会	11月1日(火)18:00-20:00	仙台ワシントンホテル	

研究発表会(口頭発表・ポスター発表)

422件(口頭発表:279編、ポスター発表:143編)

ポスター発表に対して「優秀ポスター賞」の表彰を行います。優秀ポスター賞は二日目懇親会において審査結果の発表・表彰を行うと共に、後日廃棄物学会ニュース等に掲載いたします。

平成16年度廃棄物学会賞受賞者記念講演

10月31日(月)14:00~14:15 第3会場 論文賞 柴田悦郎(東北大学)
 10月31日(月)14:00~14:15 第4会場 奨励賞 東條安匡(北海道大学)
 10月31日(月)14:00~14:15 第5会場 奨励賞 寺園 淳((独)国立環境研究所)

国際シンポジウムおよび国際セッション

国際委員会の企画による国際シンポジウムを開催します。なお、国際セッションはポスター発表のみです。

(1) 国際シンポジウム (使用言語：英語)

テーマ「循環型社会構築への戦略(仮題)」

本年4月に3Rイニシアティブ閣僚会合が東京で開催され、持続可能な生産・消費社会確立のための取り組みが議論された。もとより廃棄物学会は、大量生産・大量消費社会に起因する廃棄物問題の解決と、諸外国の廃棄物管理改善に役立つことを設立趣旨としており、廃棄物学会の役割が一層認識されるべきものとなった。グローバル化の進む今日、循環型社会構築には世界的な視野が不可欠であり、とりわけ、近隣のアジア・太平洋諸国との連携は、我が国にとって極めて重要なものとなる。

国際委員会では日韓廃棄物学会の交流協定に基づく「日韓シンポジウム」を開催してきたが、今回は「循環型社会構築への戦略」をテーマに国際シンポジウムとし、アジア太平洋諸国の廃棄物専門家のネットワーク化に向け10月末に東京で開催する専門家会議の結果についても報告する。

日時：10月31日(月) 16:15～18:30

場所：第5会場

内容：(演題は仮題)

- 1) 循環型社会構築へ向けた戦略：日本が提唱する3Rイニシアティブ (環境省)
- 2) 韓国における循環型社会構築の戦略 Park, H-Ho (韓国環境省)
- 3) アジア太平洋における循環型社会構築の課題 田中 勝 (岡山大学)
- 4) 韓国エコ・パーク(EIP)におけるリサイクル事業 Bae, Sung Keun (Chanwong 大学)
- 5) パネルディスカッション

(2) 国際セッション

日時：10月31日(月) 12:30～14:00

場所：2階 桜

34件(すべてポスター発表)

展示(行政、企業、市民部門)

一般公開企画(参加費無料)

地方公共団体(東北6県、仙台市)、企業、市民団体あわせて30ほどの展示をおこないます。

期間：10月31日(月)～11月2日(水)

場所：2階(詳細は未定)

若手の会

日時：10月31日(月) 18:30～20:45

場所：第6会場

参加希望連絡先：若手の会事務局 朝倉 宏 asakura.hiroshi@nies.go.jp (FAX: 029-850-2694)

本年度から役員が入れ替わり、新しい若手の会が始まりました。

総会では、今後の活動方針として、「研究合宿・集会」、「若手の会会員のコラボレーションによる研究助成金獲得」などの戦略的な活動について議論したいと考えています。

その後の懇親会(同会場)では、さまざまな立場の会員でグループを作り、「自治体・企業の望む人材とは？」などの熱いテーマをつまみに、酒と料理を楽しんでいただこうと考えています。会費は、社会人会員3,000円、学生会員1,500円程度を予定しています。

このように、本年度の若手の会は成熟期を迎えて進みだそうとしています。奮ってご参加ください。準備の都合上、参加希望の方は事前に上記までご連絡ください。

詳しい情報は、<http://www.jswme.gr.jp/wakate/> をご覧ください。

懇親会

日 時：11月1日(火) 18:00～20:00

場 所：仙台ワシントンホテル レインボーホール (p3 参照)

〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-2-10 TEL：022-222-2111

参加費：6,000円 ただし、学生会員・登録団体市民会員は3,000円

申込方法：【事前申込】研究発表会の事前申込書にてお申込みください。

【当日申込】2日目(11月1日)午前より受付いたします。研究発表会参加証を懇親会受付にお出しください。

施設見学会

各コースのご案内：

コース	日時	内 容	定員	参加費
A	11月2日(水) 13:00 - 17:30	13:00 仙台国際センター 出発 14:00 - 14:50 白石市生ごみ資源化事業所 見学 15:00 - 16:00 蔵王酒造展示館 見学 16:10 JR東北新幹線 白石蔵王駅 到着・解散 17:15 JR東北新幹線 仙台駅 到着・解散 17:30 仙台国際センター 到着・解散	30名	2,000円 昼食代は含みません。
B	11月2日(水) 8:30 - 16:30	8:30 仙台国際センター 出発 10:30 - 11:50 いわてクリーンセンター 見学 12:15 - 14:15 中尊寺見学 14:40 JR東北新幹線 一関駅 到着・解散 16:30 JR東北新幹線 仙台駅 到着・解散	30名	4,500円 昼食代、拝観料込み

Aコース：

白石市生ごみ資源化事業所(愛称：シリウス)は、農林水産省「食品リサイクル施設先進モデル実証事業」の補助を受けて平成15年に稼働した、生ごみをエネルギー資源として活用する、環境に配慮した先導的な施設です。これまで生ごみは、焼却などにより処理・処分されてきましたが、市内の事業所や家庭から発生する生ごみをメタン発酵処理し、生じたメタンガスをマイクロガスタービンにより発電、廃熱を温室や学校給食センターの熱源に利用するなど多目的に有効活用を図った自治体としては日本で初の施設です。

次に蔵王酒造展示館では、みやぎの酒のおいしさをちょっぴり味わいながら日本酒の醸造工程における3Rの取組状況を紹介します。また「1升びん」というリユースの優等生に比べ、中小容器の「ワンウェイびん」がカレットないし埋め立てとなっている現状を300mlびんや720mlびんも「リターナブルびん」に転換すべく、宮城県酒造協同組合、東北びん商宮城県支部に業務用酒販店も加わった「Rびん(リターナブルびん)の普及と循環システムの構築」について、みやぎから全国に発信します。



写真1 白石市生ごみ資源化事業所全景(宮城県白石市のHPから)



写真2 蔵王酒造展示館入り口(蔵王酒造(株)のHPから)

Bコース：一般の発表時間と重なります。11月2日に発表や聴講の予定がある方は参加できません。

10年前に公共関与による産業廃棄物処理モデル施設として、厚生大臣より全国で初めて「廃棄物処理センター」の指定を受け稼働した、「いわてクリーンセンター」は2系統の焼却施設と管理型最終処分場を持つとともに、余熱を利用した入浴施設や温水プールも備えた当時としては、最先端といえる施設でした。当初は、全国初の試みであったことから、県内外から多くの見学者が訪れた施設でしたが、稼働から10年が経過し、産業廃棄物を取り巻く状況は大きく変化しました。施設見学と10年間の稼働実績及び今後の課題を聴きながら、産業廃棄物処理施設のあり方や、行政の役割等について一緒に考えましょう。また、大河ドラマによって脚光を浴びる「義経」が青春を過ごし、最期をむかえた平泉にある「中尊寺」の参拝も企画しました。義経が駆け抜けた時代を感じ取ってください。

申込方法：

同封の見学会申込書にご記入の上、FAX（03-3769-1492）にてお申込ください。

各コースとも先着順に受付をします。申込書到着後、申込状況を確認し、代表者の方にメールまたはFAXにて連絡します。

参加費の入金方法は、の連絡の際に記載しますので、それ以前の振込はご遠慮ください。事前申込みの場合、当日、現金でのお支払はお受けできません。

申込締切

平成17年9月16日(金)

注意点

- ・ Bコースは一般の発表時間と重なります。11月2日に発表や聴講の予定がある方は参加できません。プログラムでご自身の予定をご確認の上、お申込ください。
- ・ 施設見学会の参加には研究発表会への参加が必要です。研究発表会の事前申込みもあわせて行ってください。
- ・ 発表時間と重なった場合を含め、参加者の都合によりキャンセルされる場合は、参加費は返金いたしません。
- ・ 事前申込で定員に満たなかった場合のみ、当日受付を行います。

申込み・問合せ先

廃棄物学会事務局 TEL：03-3769-5099 FAX：03-3769-1492



小集会一覧(1)		
日時・会場	題 目	(開催部会名)
10月31日(月) 10:00 - 12:00 第7会場	「家電リサイクル法の見直し案を議論する - 法の目的、責任分担、技術、事業性の観点から - 」	(リサイクルシステム・技術研究部会)
趣旨：施行5年経過による改正論議が始まる家電リサイクル法の見直しの方向性を議論する。昨年度、容器包装リサイクル法の見直し検討を行った経験を元に、家電リサイクル法の目的、責任分担のあり方、環境配慮設計やリサイクル技術の現状、また回収・処理・再利用に関する事業的な観点から踏まえた見直しのポイントを部会メンバーから提示し、それに対して有識者からご意見を頂くパネルディスカッション形式を想定。		
パネリスト案 ・民間：家電メーカー（設計及びリサイクル部門） ・協会：(社)プラスチック処理促進協会、(財)家電製品協会 等 ・行政：国、全国都市清掃会議 等 ・学識		
10月31日(月) 14:00 - 16:00 第7会場	「成功事例から学ぶ3R推進のノウハウと計画論的展望」	(廃棄物計画部会)
趣旨：「一般廃棄物処理計画」には、再生利用率の設定などの数値目標やごみの排出抑制、分別への協力、住民の自主的な資源化への協力など3R推進施策が盛り込まれているが、住民の「一般廃棄物処理計画」における3R推進施策への協力の必要性等の認知度はそれほど高くないのが現状である。このギャップが計画の実効性に及ぼしている影響は少ないことから、自治体は計画の策定過程においてパブリックインボルブメント（政策決定過程における住民参加）を導入するとともに、無関心層を含めて、計画そのものあるいは計画目標をPRすることに力を注いでいる。また、実践行動を促進するための関係者間での情報共有やパートナーシップの構築もポイントとなる。本小集会では、「一般廃棄物処理計画」の策定や3R施策のPRの成功事例の分析を基に、計画の実効性を高める計画ツールについてパネラー間で討議を行うとともに、参加者との意見交換などを行いながら、議論を深めていきたい。		
プログラム：1. 部会長挨拶 古市 徹（北海道大学） 2. 事例報告 高橋良記（仙台市） 神崎広史（千葉市） 3. 事例報告 西川光善（㈱環境技研コンサルタント） 4. パネルディスカッション コーディネーター 池田行宏（近畿大学）+ 上記2. 3メンバー 5. 参加者との討論		
10月31日(月) 16:15 - 18:15 第7会場	「循環資源・廃棄物に関する試験法の標準化動向」	(廃棄物試験検査法研究部会)
趣旨：現在、様々な分野で試験法の標準化が進んでいます。循環資源や廃棄物の分野でも、処理処分やリサイクルを安全かつ効果的に行うために、目的に応じた適切な試験法が必要とされていますが、統一化、標準化は欧州等に比較して遅れているのが現状です。アジアを中心にして循環資源や廃棄物が国際的に移動している状況で、各国事情も考慮したアジア地域に共通の規格化へ向けた日本のイニシアティブも求められているといえます。本小集会では、内外の試験法の標準化動向についての情報を共有し、廃棄物学会としての貢献のあり方について議論してみたいと思います。		
講演：内外における関連分野（他学会、国際規格等）の動向について、数名の講演者を予定しています。		
10月31日(月) 18:30 - 20:30 第4会場	「POPs 廃棄物対策の最新の動き」	(有害廃棄物研究部会)
趣旨：環境中で残留性が高く、食物連鎖を介して生物体内に高濃度に蓄積される残留性有機汚染物質(POPs)が広範囲に地球環境を汚染し、海洋哺乳類等の個体数減少や農水産資源の質の低下等に深刻な影響を与えています。今年5月に第1回締約国会議が開催された「POPs条約」の指定物質の中で、現在、日本で意図的に製造・使用されているものはありませんが、過去に使用され、また、適切に回収・処理されずに今もなお残存して環境汚染を招いていることから、早急な対策が必要とされています。そこで、本小集会では、POPs 廃棄物規制の現状や全国に広く大量に存在し、安全・確実・迅速な処理が望まれる廃農薬や低濃度 PCBs 廃棄物など、POPs 廃棄物対策の最新動向を紹介するとともに、今後の方向について意見交換を行う場を企画しました。皆様、奮ってご参加ください！		
プログラム(案)：1. POPs 廃棄物規制の現状と今後の方向 野馬幸生 ((独)国立環境研究所) 2. POPs 廃農薬処理の現状と課題 細見正明 (東京農工大学) 3. 低濃度 PCBs 廃棄物の基準と対策の考え方 平井康宏 ((独)国立環境研究所) 4. 質疑応答および意見交換等		

小集会一覧(2)

日時・会場	題 目	(開催部会名)
10月31日(月) 18:30-20:30 第7会場	「バイオマス系廃棄物のエネルギー化」 (バイオマス系廃棄物研究部会、日本生物工学会バイオマスリファイナリー研究部会共催)	
<p>趣旨：脱石油社会の構築のためには安定したエネルギーの供給が不可欠である。太陽電池はじめ新エネルギーへの取り組みが盛んに行われているが、バイオマスエネルギーもその一つである。ここでは、バイオマスエネルギーに関する国の大型プロジェクトの研究開発紹介と将来の方向性について探ってみたい。なお、この小集会は日本生物工学会バイオマスリファイナリー研究部会と共催する。</p> <p>プログラム：木質系バイオマスから燃料用アルコールの生産 バイオマスからの水素・メタン生産 バイオマスからのアセトン・ブタノール生産 将来についての討論</p>		
11月2日(水) 9:30-11:30 第1会場	「再考!! Waste Management ~三位一体改革を機に廃棄物行政のあり方を考える~」 (仮題)	(行政研究部会)
<p>趣旨：三位一体改革の議論を経て新制度がようやく誕生した。 本小集会においては、スタートしたばかりの新制度について概観すると共に、この機会に廃棄物・リサイクル行政の課題とされてきた幾点かについて、新制度を踏まえ、政策目標を達成していくためにいかにすべきか皆様と議論をかさねることを念頭にはしています。 なお、当部会は年末の学会誌にて、同テーマの特集を担当しておりますので、ご期待くださいますようお願い致します。</p> <p>コーディネータ 早川哲夫(麻布大学)</p> <p>パネリスト 「交付金制度の概要と位置付け(仮)」 環境省(交渉中) 「市町村の動向と新制度の定着活用に向けて(仮)」 庄司 元((社)全国都市清掃会議) 「一廃処理への都道府県関与(ハード・ソフト)(仮)」 埼玉県(交渉中) 「今後の廃棄物行政(市町村)の方向性について(仮)」 藤波 博(川口市) 「地域計画の概要について(仮)」 地域計画策定済みの市町村または一部事務組合(交渉中)</p>		
11月2日(水) 10:00-12:30 第7会場	「 ^{ごみ} 廃棄物処理法の35年 - その廃棄物は、誰がどう係わるのか - 」	(ごみ文化研究部会)
<p>趣旨：廃棄物についての責任と役割分担については、1970(昭和45)年の廃棄物処理法において、基本的ルールが定められたが、その後、適正処理、リサイクルの推進、拡大生産者責任(EPR)などの観点で、かなりの軌道修正が行われてきた。こうした経緯をまとめ、誰が廃棄物を担うのが適切であるかについての議論を深めたい。</p> <p>廃棄物への対応は一般廃棄物または産業廃棄物、あるいは、リサイクルで規定され、発生場所、ものの流れに沿っての扱いが困難である。</p> <p>一廃について、その処理責任は排出者(住民)にあり、処理計画に従い市町村が実務を担当しているケースが多いが、市町村が一廃全体を管理するまでに至っていない。また、乾電池の水銀問題に見られるようにごみ処理に事業者は責任なしという時代から、事業者も応分の責任を負うべきとの時代になったが、その範囲についての議論は継続中である。都道府県の役割もあいまいさを残している。</p> <p>産廃については、排出事業者、許可業者、公共、での処理が想定されているが、それらの位置づけが明確でなく、PCBに見られたように自由経済のもとでは担い手が登場しないまま空白が生じていた。また、処理施設や処理業で事業中あるいは閉鎖後、管理者不在のケースが出現しており、環境保全上深刻な状況にある。不法投棄・不適正処理についても、予防的対応が第一であるが、事後の対応を誰が行うか、課題として残されている。産廃行政における専門性の確保も課題である。</p> <p>当学会誌 Vol.8, No.5(1997)等で廃棄物管理における責任と実施のあり方を追求されてきた講演者を中心に、この35年間の動きを概観し、課題と今後の検討の方向を探りたい。</p> <p>プログラム：1.挨拶 松藤康司(福岡大学) 2.基調講演「廃棄物管理の責任と主体 - 廃棄物処理法35年間の経緯」 小林康彦((財)日本環境衛生センター) 3.討議：「これからの廃棄物管理の骨格を改めて考える」 司会 横田 勇(静岡県立大学)</p>		

発表ガイドライン

口頭発表

第 16 回研究発表会においては、一般口頭発表は**液晶プロジェクターでの発表を主体として準備いたしますので、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。OHPは基本的に用意しません。OHPの利用を希望される方は事務局までご連絡ください。連絡をいただいた場合のみOHPをご用意します。**

1. 基本事項

- ・発表者であっても参加申込み、参加費は必要です。
- ・講演時間に遅刻した場合は発表できないことがあります。
- ・発表の講演時間は、発表 10 分、質疑応答 5 分の計 15 分です。時間を超過した場合には、発表の途中であっても座長に打ち切られることがあります。
- ・聴衆者に良く理解されるような発表を行ってください。特に、継続性のある研究を発表される場合には、これまでの発表との違い、今回の発表の特徴を明確にして発表を行ってください。

2. 液晶プロジェクター利用上の注意

講演では**液晶プロジェクター**を利用いたしますので、事前に講演ファイルをお送り頂きます。いくつかの制約に関してご不便をおかけしますが、スムーズな進行を期すためとご容赦いただき、以下の注意事項に従ってファイルを作成してください。

(1) ファイルの作成について

講演で使用されるファイル（講演ファイル）のインストールと動作確認を事前に行います。

- ・ファイル形式等：講演ファイルは Microsoft PowerPoint®で作成し、ファイルの容量は最大でも 10MB 程度に収まるようお願い致します。
- ・ファイル名：「セッション番号 演者の氏名.ppt」としてください。（例：「A1-1 廃棄物太郎.ppt」）
- ・ファイルの送付：CD-R にて下記まで送付してください。送付いただくメディア内には、講演ファイルのみを入れてください。メディアのラベル上に、ファイル名、連絡先の電子メールアドレス（講演ファイル受領の連絡を電子メールで致します）を必ずお書き添えください。ファイルの送付後 **10月20日**までに確認の連絡がない場合は、学会事務局（Tel：03-3769-5099）までご連絡ください。
- ・締切り：**10月17日（月）必着**
- ・送付先：〒108-0014 東京都港区芝 5-1-9 豊前屋ビル 5 階 廃棄物学会事務局 研究発表会 ppt ファイル受付係

(2) 発表当日

- ・各講演会場に講演ファイルをインストールしたノートパソコンと液晶プロジェクターを用意します。講演ファイルは大会終了後にハードディスク上から消去致します。
- ・液晶プロジェクターに接続されるノートパソコンのオペレーティングシステムは Microsoft Windows® XP で、使用ソフトは PowerPoint® 2003 です。各会場に配置されるプロジェクターの解像度は XGA(1024×768)です。
- ・ノートパソコンは演台に設置しますので、講演者自らがノートパソコンを操作し、講演を行ってください。
- ・ファイルの返却：記録メディアは原則として大会当日、返却します。（返却場所は受領確認メールにてお知らせします。）

(3) その他

- ・当日のファイルやパソコン持ち込みによる液晶プロジェクター利用は、運営の支障になる可能性があるため、受け付けません。

3. OHPの利用を希望される方

OHPの利用を希望される場合には事務局まで FAX にて連絡をお願いします。連絡をいただいた場合のみOHPを用意いたします。

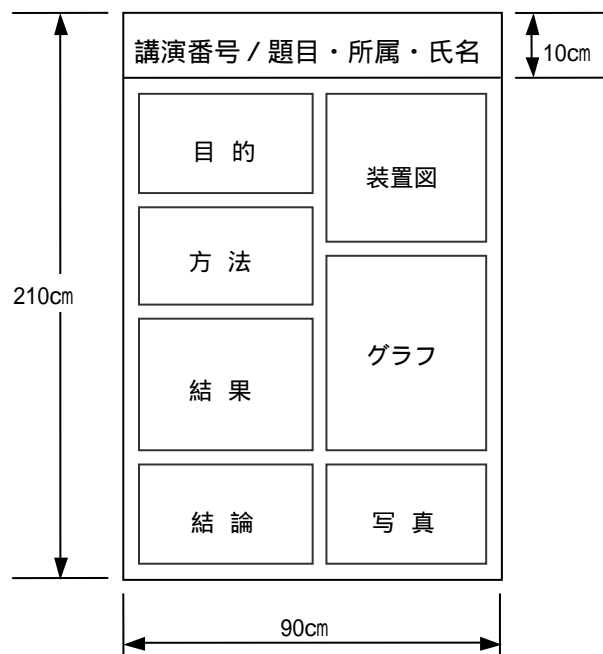
- ・連絡先：廃棄物学会事務局 FAX:03-3769-1492
- ・連絡事項：発表するセッション、論文タイトル、発表者名
- ・連絡期限：**10月17日（月）**

ポスター発表

ポスター発表は、2日に分けて行われます（ポスター1は1日目、ポスター2は2日目）。

また、優れたポスターに対して、優秀ポスター賞を設けています。審査はポスター会場を訪れた方からの投票で行います。2日目の懇親会において、発表および表彰を行いますので、力作を持ってご参加ください。

1. 発表者であっても参加申込み、参加費は必要です。
2. 継続性のある研究を発表される場合には、これまでの発表との違い、今回の発表の特徴を明確にして発表を行ってください。
3. 論文1件あたりのポスター貼り付けスペースは、タテ 210 cm × ヨコ 90 cmとします。ただし、パネルの最上部タテ 10 cmには必ず、講演番号、題目、所属、氏名を印刷するか、または記入した用紙を貼ってください。ポスターを貼り付けるパネルの色は、薄い灰色です。（色の表現が適切でないかもしれませんので、あくまで参考としてください。）
4. ポスターの理解度を深めるために、実験サンプルやアルバムを持ち込むことは、かさばらなければ可とします。ただし、ビデオ、パソコン等電源を必要とするものは不可とします。また、商品宣伝の意図を強く出した内容のものも不可とします。
5. ポスターの貼付、発表及び撤収時間はそれぞれ以下のとおりです。
貼付：10月31日(月) 9:30 ~ 11:00
発表：ポスター1 - 10月31日(月) 12:30 ~ 14:00
ポスター2 - 11月1日(火) 11:10 ~ 12:40
撤収：11月1日(火) 17:00 ~ 2日(水) 11:00（できる限り11月2日の10時ごろまでに撤収してください）
6. 発表者は、ポスター貼付前にポスター会場の受付に到着した旨を伝え、発表者リボン、貼り付け用ピンを受け取り、注意事項を聞いてください。
7. 図面やグラフなどをパネルに直接貼り付けても構いません。パネルへの貼り付けにはピン（会場受付にて配布）を使用してください。
8. 発表者は発表時間に、ポスターの前で説明を行ってください。
9. 撤収は必ず発表者の責任でお願いします。撤収時間を過ぎた場合には、会場スタッフがポスターを撤収・廃棄しますが、毎年多大な負担となっています。ご協力ください。



【ポスター作成例】

タイムスケジュール

	第1会場 小会議室1 1F (54/96)	第2会場 小会議室2 1F (54/96)	第3会場 橋 2F (288/500)	第4会場 萩 2F (225/400)	第5会場 白檀1 3F (126/220)	第6会場 白檀2 3F (72/110)	第7会場 小会議室8 3F (63/100)
10月31日(月)	受付 9:00-						
	10:00-11:45 E 1 PCB処理・分析	10:00-12:00 B 1 汚泥等の資源化	10:00-11:45 C 1 焼却・炭化技術	10:00-11:45 D 1 埋立地浸出水	10:00-12:00 A 1 ごみ発生・性状	10:00-11:45 A 5 住民参加・意識(1)	10:00-12:00 小集会 リサイクルシステム・技術研究部会
	12:30 - 14:00 ポスター発表(プログラム中に「ポスター1」と表記)、国際セッション:2階 桜						
			14:00-14:15 論文賞	14:00-14:15 奨励賞	14:00-14:15 奨励賞		
	14:30-16:00 E 2 土壌・地下水汚染	14:15-16:00 B 2 生ごみ・汚泥等の処理	14:15-16:00 C 2 排ガス処理/ガス化溶解	14:15-16:00 D 2 埋立地しゃ水(1)	14:15-15:45 A 2 物質フロー解析・産業連関分析	14:30-16:00 A 6 住民参加・意識(2)	14:00-16:00 小集会 廃棄物計画部会
	16:15-18:00 B 3 プラスチックの資源化	16:15-18:00 C 3 ダイオキシン分解	16:15-18:00 D 3 埋立地しゃ水(2)/埋立地利用	16:15-18:30 国際シンポジウム	16:15-18:00 A 7 容器包装のリサイクル	16:15-18:15 小集会 廃棄物試験検査法研究部会	
			18:30-20:30 小集会 有害廃棄物研究部会		18:30-20:45 若手の会	18:30-20:30 小集会 バイオマス系廃棄物研究部会	
11月1日(火)	9:00-10:45 E 3 有害性試験	9:00-11:00 B 10 その他有機系廃棄物の資源化(1)	9:00-10:45 C 4 ダイオキシン生成/ダイオキシン類等のモニタリング	9:00-10:45 D 4 埋立地モニタリング	9:00-11:00 B 4 メタン発酵(1)	9:00-10:45 A 8 家電・自動車のリサイクル	9:00-10:45 A 12 エコタウン・リスク評価
	11:10 - 12:40 ポスター発表(プログラム中に「ポスター2」と表記):2階 桜						
	13:00-15:00 E 4 有害廃棄物・廃水処理	13:15-15:00 B 11 その他有機系廃棄物の資源化(2)	13:00-15:00 C 5 焼却灰性状・安定化	13:00-15:00 D 5 化学物質の溶出と挙動/バイオモニタリング	13:00-15:00 B 5 メタン発酵(2)	13:15-15:00 A 9 廃棄物管理・計画(1)	
	15:15 - 17:30 シンポジウム:2階 大ホール						
18:00 - 20:00 懇親会:仙台ワシントンホテル							
11月2日(水)	9:30-11:30 小集会 行政研究部会	9:00-10:45 B 6 コンポスト	9:00-10:45 B 8 焼却灰の資源化	9:00-10:45 D 6 埋立地安定化(1)	9:00-10:45 A 3 LCA	9:00-10:45 A 10 廃棄物管理・計画(2)	10:00-12:30 小集会 ごみ文化研究部会
		11:00-12:45 B 7 建設廃棄物の資源化	11:00-12:45 B 9 溶融スラグの資源化	11:00-12:45 D 7 埋立地安定化(2)	11:00-12:45 A 4 リサイクルシステム評価	11:00-12:45 A 11 処理施設計画	

展示(行政、企業、市民部門): 10月31日(月) - 11月2日(水)

施設見学会:【Aコース】11月2日(水) 13:00 - 17:30、【Bコース】11月2日(水) 8:30 - 16:30

セッションプログラム

(ホースター-1: 1日目発表、ホースター-2: 2日目発表、その他は口頭発表)

廃棄物学会賞受賞者記念講演(論文賞) 【10月31日(月) 第3会場 14:00-14:15】

『平成16年度廃棄物学会論文賞』溶融塩 スラッグ間の重金属の分配挙動

東北大学 柴田悦郎

廃棄物学会賞受賞者記念講演(奨励賞) 【10月31日(月) 第4会場 14:00-14:15】

『平成16年度廃棄物学会奨励賞』廃棄物層内における水分移動現象とその制御法に関する研究

北海道大学 東條安匡

廃棄物学会賞受賞者記念講演(奨励賞) 【10月31日(月) 第5会場 14:00-14:15】

『平成16年度廃棄物学会奨励賞』アジア地域における資源循環・廃棄物管理に関する研究

(独)国立環境研究所 寺園 淳

A 1 ごみ発生・性状 【10月31日(月) 第5会場 10:00-12:00】

- | | | | | |
|---------|--------|--|----------------|----------------------------------|
| | A 1-1 | 東京都多摩地域における家庭ごみ減量化施策の影響分析 | 首都大学東京 | 小泉 明、荒井康裕、高木順子 |
| ホースター-1 | A 1-2 | 道路清掃ごみの季節変動に関する一考察 | 首都大学東京 | 岩本隆大、小泉 明、荒井康裕 |
| | A 1-3 | イベント来場者の行動に及ぼすごみ対策の影響 | 九州大学 | 村上明子、中山裕文、島岡隆行 |
| | A 1-4 | 使用済み衛生陶器発生量の将来推計 | 北九州市立大学 | 新谷亮介、松本 亨 |
| | A 1-5 | 産業系廃プラスチックの発生、処理・処分に関する調査
(社)プラスチック処理促進協会 | 加納芳明 | 住友化学株式会社 富田 滋
(株)循環社会研究所 平田憲久 |
| | A 1-6 | ごみの種別塩類含有量とその燃焼挙動 | 京都大学 | 栗林佳史、渡辺信久、水谷 聡 |
| ホースター-2 | A 1-7 | ごみの性状分析結果のばらつきに関するシミュレーションモデル | 大阪市立環境科学研究所 | 酒井 護、西谷隆司、山本 攻 |
| | A 1-8 | ディスプレイ設置に伴う都市ごみ組成への影響について | 八千代エンジニアリング(株) | 入佐孝一、荒井隆俊 |
| | A 1-9 | 淡路島における海岸漂着ごみモニタリングとその季節変化について | (社)瀬戸内海環境保全協会 | 清水孝則 |
| ホースター-1 | A 1-10 | 産業を発生源とする海浜漂着大型プラスチックゴミ | 鳥取大学 | 岡野多門、石橋信也、築田哲也 |
| ホースター-2 | A 1-11 | 中国寧波市における一般廃棄物処理の現状とその課題 | 宇都宮大学 | 賈 臨宇、今泉繁良、北島 滋 |
| | A 1-12 | デポジット制度は製品需要に影響を与えるか - アメリカのビール消費データを用いた実証分析 - | 神戸大学 | 沼田大輔 |

A 2 物質フロー解析・産業連関分析 【10月31日(月) 第5会場 14:15-15:45】

- | | | | | |
|---------|-------|---|-----------|-------------------|
| ホースター-1 | A 2-1 | 粗大ごみ処理施設における金属収支の推定 | 山口大学 | 李 博洋、浮田正夫、樋口隆哉 |
| ホースター-2 | A 2-2 | 木質系バイオマス及び食品資源・廃棄物のマテリアルフロー解析
(独)国立環境研究所 | 平井康宏、京都大学 | 酒井伸一 (株)アーシン 出口晋吾 |
| | A 2-3 | 中山間地域におけるバイオマス利活用による資源循環 - 福島県東白川郡鮫川村を事例として - | 東京農業大学 | 佐貴安希子、入江満美、牛久保明邦 |
| | A 2-4 | 蛍光管の循環システム構築に向けた水銀の物質フロー解析 | 京都大学 | 福井和樹、浅利美鈴、酒井伸一 |
| | A 2-5 | 自治体における飲料容器収集・選別の物質収支 | 北海道大学 | 松藤敏彦、小石哲央、柴田哲也 |
| ホースター-1 | A 2-6 | 都市圏における循環資源のマテリアルフロー分析
(株)日立製作所 | 柴田智久 | 北海道大学 角田芳忠、松藤敏彦 |

- A 2-7 全世界における人間活動に伴う窒素・リンのフローの定量化
京都大学 藤森真一郎、河瀬玲奈、松岡 謙
- A 2-8 産業連関分析による製品材料組成の推定：ベースメタル
早稲田大学 中村慎一郎 東北大学 中島謙一
- A 2-9 廃棄物処理広域化の環境影響評価：廃棄物産業連関線形計画モデルの地域間産業連関表への応用
早稲田大学 近藤康之 東北大学 加河茂美 早稲田大学 中村慎一郎

A 3 L C A 【 11月2日(水) 第5会場 9:00-10:45 】

- A 3-1 戦略的廃棄物マネジメント支援ソフトウェアの開発
- ソフトウェアの枠組みと中間処理技術のモデル化 -
岡山大学 田中 勝、松井康弘、安田憲二
- A 3-2 環境効用ポテンシャル評価手法 (E2-PA) による溶融飛灰の再資源化の環境負荷評価
早稲田大学 永田勝也、小野田弘士、小野田哲也
- A 3-3 LCA 的手法による廃棄物処理システムの評価
早稲田大学 永田勝也、小野田弘士、風間祥吾
- ホスター2 A 3-4 プラスチック製容器包装廃棄物に注目した都市ごみ収集・処理システムの評価
京都大学 立花 啓、松本忠生、高岡昌輝
- A 3-5 リサイクルプロセスの LCI の記述方法に関する検討
(独)国立環境研究所 藤井 実、橋本征二、森口祐一
- ホスター1 A 3-6 生ごみ処理機導入による廃棄物処理システムの環境負荷の定量
関西大学 山本 宙、和田安彦、尾崎 平
- A 3-7 高含水率廃棄物系バイオマス集約バイオガス化と下水処理連携の効果
北海道大学 稲葉陸太、古市 徹、小松敏宏
- ホスター2 A 3-8 研究廃液の凝集沈澱処理についての L C A 評価
(独)産業技術総合研究所 森本研吾、八木田浩史、辰巳憲司
- A 3-9 使用済み無電解ニッケルめっき液のリサイクル評価
(独)産業技術総合研究所 大矢仁史、田中幹也 日本カニゼン(株) 斉木幸則
- ホスター1 A 3-10 建物解体廃棄物の回収率・異物混入率を考慮した LCA 評価の試み
東京理科大学 小林謙介 鹿島建設(株) 間宮 尚 東京理科大学 田中秀樹
- A 3-11 廃棄物産業連関モデルを用いた消費者行動の分析：所得と時間に関するリバウンド効果
静岡大学 高瀬浩二 早稲田大学 近藤康之、鷲津明由

A 4 リサイクルシステム評価 【 11月2日(水) 第5会場 11:00-12:45 】

- ホスター2 A 4-1 札幌市における粗大ごみリユース戦略の提案
北海道大学 堀井一嗣、古市 徹、谷川 昇
- A 4-2 廃棄物のリサイクルにおける経済評価の検討
福岡大学 佐藤研一 江崎秀香 CPM コーポレーション 松雪清人
- ホスター1 A 4-3 ごみの分別に起因する焼却炉の発熱量低下に関するシナリオ解析
山口大学 樋口隆哉、浮田正夫 宇部フロンティア大学 城田久岳
- A 4-4 リサイクル施設等からの処理残渣に関する研究
岡山大学 田中 勝、安田憲二、石橋誠司
- ホスター2 A 4-5 家庭系生ごみ資源化の経済効率にかんする調査
九州大学 近藤加代子
- A 4-6 蛍光管の循環システム構築に向けたアンケート調査
京都大学 浅利美鈴、梅原秀之、酒井伸一
- A 4-7 最終処分場からの資源回収に関する産業連関分析
東北大学 恩田 隆、横山一代
- A 4-8 タイの循環資源貿易の動向
北海道大学 佐々木創
- A 4-9 冷蔵庫を事例とした日中間のグローバルリサイクルの環境影響評価
立命館大学 小泉國茂、小幡範雄、周 瑋生
- A 4-10 貝殻付着物など漁業系廃棄物の油温減圧式乾燥について
西松建設(株) 西田德行、大原 直 釜石市 佐々隆裕

A 5 住民参加・意識 (1) 【 10月31日(月) 第6会場 10:00-11:45 】

- A 5-1 環境への意識・行動が廃棄物発生に与える影響解析
豊橋技術科学大学 高橋朋哉、姥浦道生、後藤尚弘
- ホスター1 A 5-2 行政・住民協働によるごみ減量化の取組
長野県山形村 青沼永二 清水建設(株) 小宮山由起江

	A 5-3	制度のタイプによるごみ分別行動に関する検討	岩手県立大学 篠木幹子 東北大学 海野道郎
	A 5-4	家庭系有害廃棄物の管理システムに関する検討 - 住民へのアンケート調査 -	東京都環境科学研究所 辰市祐久、高橋昌史、中浦久雄
ポスター2	A 5-5	廃食用油回収に係る住民意識構造に関する研究	岡山大学 田中 勝、松井康弘、武内千英
ポスター1	A 5-6	住民意識調査からみた家庭ごみの資源化率向上のための考察	埼玉県環境科学国際センター 磯部友護、川寄幹生、小野雄策
	A 5-7	廃棄物の焼却処理等に関する意識調査	(独)国立環境研究所 川本克也 日本技術開発(株) 安納剛志
	A 5-8	都市部における段ボールコンポスト・プロジェクトへの参加者の意識分析	九州大学 谷 正和、近藤加代子 NPO 法人循環生活研究所 平由以子
	A 5-9	地域環境通貨事業の LCA 評価とその有効性について	早稲田大学 永田勝也、小野田弘土、金子 正
	A 5-10	アースディマナーとエコステーションに関する考察～コミュニティ・ウェイの視点から	京都府立大学 山川 肇

A 6 住民参加・意識 (2) 【 10 月 31 日(月) 第 6 会場 14:30-16:00 】

	A 6-1	青森・岩手県境産廃不法投棄現場の環境再生に関する社会経済的評価	岩手大学 笹尾俊明
	A 6-2	青森・岩手県境の産業廃棄物不法投棄に関する住民意識調査	八戸工業大学 大津正道、岩村 満、矢澤一樹
	A 6-3	県のホームページにおける双方向コミュニケーションの検討 ～青森・岩手県境不法投棄問題を例として～	北海道大学 長尾由加利、古市 徹、石井一英
	A 6-4	廃棄物処理計画の策定における市民参加と情報の共有に関する研究	北海道大学 古市 徹、谷川 昇、高橋富男
	A 6-5	コンジョイント分析による廃棄物処理施設に対する住民選好の把握	東京工業大学 田中清豪、原科幸彦 (独)国立環境研究所 大迫政浩
	A 6-6	市民参画型ごみ処理基本計画が市民に受け入れられるために何が必要か - 津島市ごみ処理基本計画策定についての社会調査研究 -	名古屋大学 広瀬幸雄 中部リサイクル運動市民の会 庄司知教 津島市 浅井直樹
ポスター2	A 6-7	最終処分場に対する住民のイメージの構造	(株)ダイナックス都市環境研究所 秋山 貴 (独)国立環境研究所 大迫政浩 東京工業大学 原科幸彦

A 7 容器包装のリサイクル 【 10 月 31 日(月) 第 6 会場 16:15-18:00 】

	A 7-1	飲料容器廃棄物の発生要因の解析	(独)国立環境研究所 田崎智宏、森口祐一
	A 7-2	PET ボトル拠点回収に対する住民の協力意識に関する研究	関西大学 尾崎 平、和田安彦
	A 7-3	事業系廃棄物として排出されるPETボトルのリサイクル推進方策について	北海道大学 竹中康倫、古市 徹、石井一英
	A 7-4	容器包装プラスチック分別収集の社会的費用便益分析に基づいた統合的評価	東京大学 中谷 隼 Asian Institute of Technology 荒巻俊也 東京大学 花木啓祐
	A 7-5	容器包装リサイクルの市場と制度の経済分析	京都大学 栗田郁真
	A 7-6	廃PETボトルのマテリアルリサイクルに関する研究	日本大学 平山美帆、平野勝巳 オール・ウェイスト・リサイクル(株) 小西武史
ポスター1	A 7-7	自治体の容器包装リサイクル費用におけるEPRの導入可能性評価	関東学院大学 安田八十五、李松林 神鋼リサーチ(株) 矢野一也
	A 7-8	拡大生産者責任政策としてのデュアルシステムの評価	尼崎市 治田純子 京都大学 森 晶寿、植田和弘
ポスター2	A 7-9	日韓における容器包装リサイクル制度の特徴とその実態	東北大学 劉 庭秀、梁 娜瑛

A 8 家電・自動車のリサイクル 【 11 月 1 日(火) 第 6 会場 9:00-10:45 】

	A 8-1	いわゆる RoHS 指令の制定過程での代替案の検討に関する一考察	学習院大学 赤淵芳宏
--	-------	----------------------------------	------------

- ホスター1 A 8-2 静脈系 LCA を用いた家電リサイクル法による地球温暖化防止効果の定量化
(社)産業環境管理協会 中野勝行、成田暢彦 (独)産業技術総合研究所 八木田浩史
- A 8-3 韓国の生産者責任制度の実態と EPR - 使用済み家電を事例として
北九州市立大学 村上理映
- A 8-4 モンゴル国における中古車流通と廃車処理の問題
東北大学 チャグタルトルガ・ダワーダシ、劉 庭秀
- A 8-5 アジア国際自動車リサイクル産業連関表 (AI-ARIOT) の作成に向けて - 日本・タイ表の試作 -
(独)産業技術総合研究所 布施正暁 中央大学 鹿島 茂
(独)産業技術総合研究所 八木田浩史
- A 8-6 易解体性及び 3R 性の定量評価手法に関する検討
(ハイブリッド車用バッテリーの解体解析と解体支援ソフトの開発)
早稲田大学 永田勝也、小野田弘土、 二又裕文
- A 8-7 ASR 焼却灰からの金属回収と脱塩素処理
秋田大学 柴山 敦 小坂製錬(株) 村上敬喜 同和鉱業(株) 井上 洋
- A 8-8 廃車の乾留ガスによる発電システムの研究
福岡大学 長田純夫 西日本環境エネルギー(株) 山田実敏 (株)三井三池製作所 辻 和時

A 9 廃棄物管理・計画 (1) 【 11 月 1 日(火) 第 6 会場 13:15-15:00 】

- A 9-1 大正の社会転換期におけるごみ問題 - 農村還元システムの崩壊 -
(株)タクマ 稲村光郎
- A 9-2 不用物発生量の変化に関するモデルの提案
(株)地域計画建築研究所 福岡雅子、小泉春洋 石川県立大学 高月 紘
- A 9-3 市町村の人口規模を指標とした一般廃棄物処理の実態分析
日立造船(株) 三野禎男 (株)三菱総合研究所 高島由布子 北海道大学 谷川 昇
- A 9-4 人口低密地域における廃棄物分別数の検討
鳥取大学 増田貴則、細井由彦、河野嘉範
- A 9-5 地域性を考慮した一般廃棄物処理システムに関する研究
東京大学 山成素子、磐田朋子、島田荘平
- A 9-6 都市ごみの広域処理計画における多目的ファジィ GA モデルの提案
首都大学東京 西出成臣、荒井康裕、小泉 明
- ホスター2 A 9-7 「廃棄物環境会計」の枠組み提案に向けた検討課題：企業・公共部門の環境会計および廃棄物会計
のレビューから
(独)国立環境研究所 橋本征二 名古屋大学 田畑智博 北九州市立大学 松本 亨
- A 9-8 ベンチマーキング手法を活用した自治体廃棄物マネジメント開発に関する研究
(株)インテージ 伊藝直哉、前浜三四郎 (独)国立環境研究所 大迫政浩

A 1 0 廃棄物管理・計画 (2) 【 11 月 2 日(水) 第 6 会場 9:00-10:45 】

- ホスター1 A 10-1 北海道における生ごみ資源化の実態
北海道大学 齊藤由起、古市 徹、谷川 昇
- A 10-2 ディスポーザーの使用実態および投入厨芥に関する調査
国土技術政策総合研究所 吉田綾子、山縣弘樹 日本下水道事業団 森田弘昭
- A 10-3 ヒアリング調査と家畜ふん尿堆肥堆肥生産実験による剪定枝チップ利用可能性の検討
北海道大学 石井一英、古市 徹、谷川 昇
- A 10-4 厨芥利用を中心とした一般廃棄物処理・資源化システムのシナリオ評価
京都大学 藤原健史、松岡 譲 環境省 浪花伸和
- A 10-5 建設廃棄物の適正管理へ向けた情報拠点としての車載端末の特徴
福岡大学 松田晋太郎、市川 新
- ホスター2 A 10-6 産業廃棄物処理業者を対象とした使用済みゴムクロウラの廃棄処理に関するアンケート調査
(独)生研センター 藤井幸人、大西正洋、小倉昭男
- A 10-7 資源化・破碎処理における防災について その 3 - 施設の防災対策と廃棄物管理 -
(財)東京都環境整備公社 橋本 治、山寺昭夫
- A 10-8 福井豪雨に伴う水害廃棄物の処理について
鹿島建設(株) 羽田賢一、青山和史 (株)サンワコン 山崎修二
- A 10-9 医療廃棄物の戦略的処理と自治体の対応に関する研究
岡山大学 田中 勝、安田憲二、有森正泰

A 1 1 処理施設計画 【 11 月 2 日(水) 第 6 会場 11:00-12:45 】

- ホスター1 A 11-1 I C タグの読み取り障害に関する調査
呉羽環境(株) 福田弘之、佐竹治仁、本郷 淳

	A 11-2	一般廃棄物の収集・運搬モデルの開発 (独)国立環境研究所 村上進亮、藤井 実、森口祐一
ホスター-2	A 11-3	GIS の活用による持ち出し距離の算出とごみ収集地点の配置に関する検討 福岡大学 鈴木慎也、斉藤美穂、松藤康司
ホスター-1	A 11-4	清掃事務所における収集経路策定方法に関する質問紙調査 策定範囲と策定時に考慮する項目 パシフィックコンサルタンツ(株) 寺田 悟 京都大学 内海秀樹、松井三郎
ホスター-2	A 11-5	清掃事務所における作業班の編成方法に関する質問紙調査 京都大学 保倉修一、内海秀樹、松井三郎
ホスター-1	A 11-6	市街地における清掃工場の立地について - エネルギー供給施設として 日本大学 三橋博巳、橋本 治
	A 11-7	廃棄物発電のネットワーク化検討 (財)廃棄物研究財団 八木美雄、藤川輝昭、竹田航哉
	A 11-8	一時保管機能をもつ一般廃棄物最終処分システムの検討 東京都 築取優丞 北海道大学 古市 徹、石井一英
	A 11-9	新規に建設された一般廃棄物最終処分場における技術システム選定の調査 (独)国立環境研究所 朝倉 宏、井上雄三
ホスター-2	A 11-10	クロ-ズドシステム処分場における大型化の研究 清水建設(株) 大野文良 (株)環境技研コンサルタント 藤田正実
	A 11-11	クローズドシステム処分場の廃棄物保管庫としての適用に関する考察 (株)竹中土木 小嶋平三 (株)鴻池組 吉田清司 北海道大学 石井一英
	A 11-12	産業廃棄物の発生源と処理源の地域クラスター分析 (財)日本環境衛生センター 立尾浩一 (独)国立環境研究所 山田正人 埼玉県環境科学国際センター 渡辺洋一
	A 11-13	既設最終処分場における埋立廃棄物減容化技術 (株)奥村組 服部未彦、川口光雄 八千代市 小山 俊
ホスター-1	A 11-14	医療廃棄物個別管理システムに関する実証試験について 呉羽環境(株) 福田弘之、佐竹治仁 (株)コシダテック 高原成明
ホスター-2	A 11-15	公民の認識比較から見る現行 PFI 手法の課題について 東洋大学 松尾友矩、齊藤 伸

A 1 2 エコタウン・リスク評価 【 11月1日(火) 第7会場 9:00-10:45 】

	A 12-1	全国エコタウン事業の地域特性指標からみた類型化に関する検討 (株)九州テクノリサーチ 佐藤明史、松岡文子 北九州市立大学 松永裕巳
	A 12-2	川崎エコタウンにおける地域循環システムの計画と評価 東洋大学 村野昭人、栗原圭充、長澤恵美里
	A 12-3	閉鎖環境における島嶼バイオマス循環システムについて (独)農業工学研究所 凌 祥之、上田達己
	A 12-4	戦略的環境アセスメントへのシナリオ作成手法の適用について 大阪市立環境科学研究所 山本 攻 岡山大学 田中 勝、石坂 薫
ホスター-1	A 12-5	廃棄物処理における安全・安心対応策の検討 早稲田大学 永田勝也、小野田弘士、切川卓也
	A 12-6	生ゴミ堆肥化装置の爆発事故の原因解明に関する研究(1) 神奈川県産業技術総合研究所 若倉正英 横浜国立大学 三宅淳巳 東京農業大学 牛久保明邦
ホスター-2	A 12-7	生ゴミ堆肥化装置の爆発事故の原因解明に関する研究(2) 横浜国立大学 三宅淳巳 神奈川県産業技術総合研究所 若倉正英 東京農業大学 牛久保明邦
	A 12-8	低濃度 PCB 汚染油の処理対象基準に関するリスク評価 (独)国立環境研究所 平井康宏 京都大学 酒井伸一、内山巖雄
ホスター-1	A 12-9	化学物質の埋立を想定した Multimedia Exposure モデルによるリスク評価 吉野秀吉 長谷川和子
	A 12-10	埋立地を発生源とする健康リスク評価モデルの作成 北海道大学 泉 和足、花田茂久、松藤敏彦

B 1 汚泥等の資源化 【 10月31日(月) 第2会場 10:00-12:00 】

ホスター-2	B 1-1	上水汚泥から回収した凝集剤の農薬等に対する凝集沈殿効果 北九州市環境科学研究所 石川精一、奥村裕司、飯田義和
	B 1-2	牡蠣殻を用いた粉末・凝集・吸着剤の開発 (有)大誠技研 春名淳介 (有)エイチ・エム・アール 森川広行 三重県 長岡良司

	B 1-3	連続高濃度排水処理の基礎実験	日本大学	飯沼友章、大木宜章
	B 1-4	亜臨界水処理と晶析法（HAP 法および MAP 法）の組合せによる下水汚泥からのリン回収	山口大学	今井 剛、荒金光弘
	B 1-5	浄水汚泥を用いた排水中のリン除去	宇部工業高等専門学校	渡邊美紀
	B 1-6	炭化汚泥からのリン酸塩回収方法	東北大学	芦村雄太、溝口忠昭、吉岡敏明
	B 1-7	グラフト重合ポリマーによる溶融飛灰溶出液中重金属の吸・脱着特性	四日市大学	高橋正昭
	B 1-8	炭化汚泥中各種化学成分の連続抽出法の検討	三重県	佐藤邦彦
	B 1-9	上水汚泥を利用した法面緑化工と現場実験による適用性に関する検討	J F E エンジニアリング(株)	中原啓介
ポスター 1	B 1-10	電解汚泥を用いた下水臭気除去の実用化に向けた検討	東京都立産業技術研究所	白子定治、宮崎則幸、谷口昌平
	B 1-11	DCR 処理土の有効利用に関する研究	富士工業高等専門学校	新木孝介、袋布昌幹、丁子哲治
ポスター 2	B 1-12	セルロース資源を原料とした高濃度 L-乳酸の生成	日本大学	川松正典、大木宜章、保坂成司
			静岡大学	中崎清彦、池田まどか、柳澤満則

B 2 生ごみ・汚泥等の処理 【 10月31日(月) 第2会場 14:15-16:00 】

	B 2-1	水素生産菌を用いる食品廃棄物からの水素生産に関する研究（1）	岡山県環境保健センター	板谷 勉、斎藤直己、小倉 肇
	B 2-2	好気性可溶化プロセスを適用した生ごみの二相式メタン発酵特性 ~好気性可溶化プロセスの評価~	三機工業(株)	坂本 勝
ポスター 2	B 2-3	食品廃棄物ディスポーザー排水の処理および電解による再生水化	東京農業大学	鈴木昌治、牧 恒雄
ポスター 1	B 2-4	食品廃棄物を用いた堆肥化における油分・塩分の影響	三洋電機(株)	桑木康之、澄田康光、鈴木晴彦
	B 2-5	含窒素有機性廃棄物のエネルギーリサイクルに関する研究	東京農業大学	金 元淑、入江満美、牛久保明邦
ポスター 2	B 2-6	間欠曝気活性汚泥法によるメタン発酵廃液の亜硝酸型硝化脱窒処理	大分大学	酒井謙二、喜納徳美
	B 2-7	炭化 PS ゼオライト排水処理剤の製紙排水処理への適応	富士電機アドバンステクノロジー(株)	森 豊
ポスター 1	B 2-8	真空減圧処理による汚泥減量化システム	富士電機システムズ(株)	石川冬比古
	B 2-9	ソノフォトカタリシスによる下水汚泥の高速分解	日野市	小林寿美子
	B 2-10	高温好気法による余剰汚泥発酵分解処理装置とその物質収支	千葉科学大学	安藤生大、坂本尚史、日吉公男
	B 2-11	金属加工業の副産物の鉄粉を利用した畜産廃水の脱色	川崎重工業(株)	澤井正和、香西幸男
			(株)木村製作所	寺本秀晴
			東北大学	林 直人、小池 智、葛西栄輝
			島根県産業技術センター	塩村隆信、田島政弘
			(株)ミシマ	三島和貴
			佐賀大学	原田浩幸、井上勝利
			(株)協和エクシオ	塩道 透

B 3 プラスチックの資源化 【 10月31日(月) 第2会場 16:15-18:00 】

ポスター 2	B 3-1	廃プラスチックの接触分解による石油化学原料化プロセスの開発（第4報）	石川島播磨重工業(株)	西野順也、伊東正皓、藤吉裕信
	B 3-2	塩ビ壁紙廃材からの活性炭製造プロセスの開発（第2報）	呉羽環境(株)	福田弘之、瀬尾郁夫、石橋丈厚
	B 3-3	アルカリ水酸化物/エチレングリコール中における軟質及び硬質 PVC の脱塩素	東北大学	吉岡敏明、溝口忠昭、小野雅彦
	B 3-4	オゾン前処理を用いた浮選による混合プラスチックからの PVC の分離	広島大学	黒瀬啓介
	B 3-5	アンモニア性熱水中におけるポリ塩化ビニルの脱塩素化	中央大学	若山 豊、橋本浩一郎、船造俊孝
ポスター 1	B 3-6	FRP から回収したガラス繊維を用いたマットの製作	日立化成工業(株)	柴田勝司、前川一誠、北嶋正人

- B 3-7 加硫ゴム廃棄物の化学リサイクルを目的としたタイヤモデルゴムのアルカリ水熱分解
東北大学 木下 睦、宮崎秀男、金 放鳴
- B 3-8 廃プラスチック等のガス化による DME 製造の検討
J F E ホールディングス 行本正雄、大宮 衛
- B 3-9 亜鉛含有ゴムとの共液化による含塩素ゴムの脱塩素処理
日本大学 坪坂将史、菅野元行、真下 清

B 4 メタン発酵 (1) 【 11 月 1 日 (火) 第 5 会場 9:00-11:00 】

- B 4-1 有機性廃棄物の高温メタン発酵システムの運転評価 (第 2 報)
富士電機アドバンステクノロジー(株) 富内芳昌、小松 正
富士電機システムズ(株) 石川冬比古
- B 4-2 高温メタン発酵における油脂含有原料の高速安定運転技術
富士電機アドバンステクノロジー(株) 人見美也子、小松 正
富士電機システムズ(株) 石川冬比古
- B 4-3 富山市エコ産業団地の食品廃棄物リサイクル施設の運転状況について
鹿島建設(株) 北島洋二、雨森司瑞利、八村幸一
- B 4-4 高温メタン発酵による食品廃棄物のバイオガス化
三重県科学技術振興センター 男成妥夫、吉岡 理
- ポスター-2 B 4-5 学校給食ごみのメタン発酵実証試験 (第 2 報)
日野市 小林寿美子 富士電機システムズ(株) 石川冬比古
富士電機アドバンステクノロジー(株) 藤本智生
- B 4-6 横須賀市における生ごみの資源化に関する研究 (第 3 報)
横須賀市 浅野 悟 住友重機械工業(株) 梁瀬克介、三井昌文
- B 4-7 うどん湯煮釜廃液 (ゆで汁) の処理技術に関する研究
香川県環境保健研究センター 藤田久雄、三好益美、岡市友利
- B 4-8 北海道中北空知地域の生ごみバイオガス化施設の安全管理について
北海道大学 古市 徹、谷川 昇 鹿島建設(株) 八村幸一
- ポスター-1 B 4-9 バイオガスプラントにおけるエネルギー利用システムの検討
日本技術開発(株) 藤田和也 北海道大学 古市 徹、谷川 昇
- B 4-10 カンポリサイクルプラザ・バイオリサイクル施設における運転報告
(株)タクマ 中西英夫、河村公平、入江直樹
- ポスター-2 B 4-11 中温乾式メタン発酵における汚泥と人工生ごみの積み重ね投入による効果
北海道大学 辻 航平、松田従三、近江谷和彦

B 5 メタン発酵 (2) 【 11 月 1 日 (火) 第 5 会場 13:00-15:00 】

- B 5-1 メタン発酵消化液の減圧濃縮 放流水とアンモニア水への分縮
北海道大学 白藤沙織、松田従三、近江谷和彦
- B 5-2 メタン発酵消化液を用いた牧草地での窒素循環
東京農業大学 落合美樹雄、入江満美、牛久保明邦
- B 5-3 乾式メタン発酵における発酵阻害とモニタリング手法の検討
東京農工大学 大野真穂、東城清秀、前田悠貴
- B 5-4 醤油粕と賞味期限切れ醤油加工品のメタン発酵処理
日本工業大学 鈴木健士郎、佐藤茂夫
- ポスター-1 B 5-5 高温高圧水処理による製紙スラッジのメタン発酵の高速化
高知工業高等専門学校 土居俊房、高橋正亮、山崎慎一
- B 5-6 豚ふん尿汚水のメタン発酵処理実証プラントの試験報告
(株)タクマ 和田浩幹、中西英夫、入江直樹
- ポスター-2 B 5-7 BDF 製造工程の副産物・グリセリンの常温メタン発酵処理
日本工業大学 佐藤茂夫、鈴木勝之
- B 5-8 水素・メタン二段醗酵システムによる有機性廃棄物のエネルギー転換
鹿島建設(株) 福井久智 (株)荏原製作所 片岡直明 (株)西原環境テクノロジー 大下信子
- ポスター-1 B 5-9 食品系廃棄物のマイクロフローによる水素醗酵
(株)西原環境テクノロジー 松本寿美、竹本 裕、品田 司
- ポスター-2 B 5-10 有機性廃棄物の水素・メタン二段発酵における可溶性・水素発酵特性
(株)荏原製作所 片岡直明、菖蒲昌平、宮 晶子
- B 5-11 産業廃棄物最終処分場の浸出水を植種源とする水素発酵
神奈川県環境科学センター 渡邊久典 神奈川県県央地域県政総合センター 吉野秀吉
- B 5-12 嫌気性水素発酵における水素生成能とその細菌叢に及ぼす発酵条件の影響
熊本大学 川越保徳、日野なおえ (株)栗本鐵工所 藤田由季子

ポスター1 B 5-13 埋め立てられた有機系廃棄物のバイオガス化適用可能性の実験的考察
北海道大学 戸田佑紀、古市 徹、谷川 昇

B 6 コンポスト 【 11月2日(水) 第2会場 9:00-10:45 】

- B 6-1 剪定ゴミの山積み堆肥化における熟成度指標
(株)新日本環境コンサルタント 松原英隆、木村 健 横浜国立大学 浦野紘平
- B 6-2 生ごみ分解過程における酵素活性の解析
静岡大学 松田 智、森 将隆、梅田光信
- ポスター2 B 6-3 家畜ふんによる食品廃棄物のコンポスト化反応促進効果
宇都宮大学 岩淵和則 神戸大学 計 文彬 宇都宮大学 宮竹史仁
- B 6-4 鶏ふん堆肥から発生するアンモニアガスに対する有機性廃棄物の添加効果
静岡県畜産試験場 佐藤克昭、芹澤駿治
- B 6-5 大規模コンポスト発酵槽における切返し・移送過程の数値解析手法
東京大学 Bongochgetsaku N.、石田哲也
- ポスター1 B 6-6 リモネンまたはシトラスオイルで減容した発泡スチロールの微生物分解の違い
東北学院大学 及川栄作、石橋良信
- ポスター2 B 6-7 高速コンポスト化システムの一次発酵過程における発酵特性と細菌相に関する研究
東京農業大学 黄 笑宇、大西章博、鈴木昌治
- ポスター1 B 6-8 微生物の呼吸活性を指標にした腐熟度の判定法
静岡大学 中崎清彦、酒井孝幸 (株)マルイ 圓井健敏
- B 6-9 中国地方における家畜ふん尿の発生構造とその資源化物(コンポスト)の地域需給バランス
広島工業大学 大崎佑介、今岡 務 (独)国立環境研究所 井上雄三
- B 6-10 コンポスト行動に対する促進要因およびコンポスト行動による行動変化：モニター調査から
九州大学 近藤加代子、谷 正和 NPO 循環生活研究所 平由以子
- B 6-11 ごみ固形燃料化施設整備における費用対効果の試算
(財)廃棄物研究財団 杉山吉男、山口隆二 パシフィックコンサルタンツ(株) 菅原政則
- ポスター2 B 6-12 ごみ固形燃料の発熱・発火事象の解明に関する実験的研究(2)
化学発光の解析に基づく固形化燃料の自動酸化機構の解明
(独)国立環境研究所 松永充史、安原昭夫 神奈川県産業技術総合研究所 若倉正英

B 7 建設廃棄物の資源化 【 11月2日(水) 第2会場 11:00-12:45 】

- B 7-1 CCA 処理木材の連続選別技術に関する研究
岡山大学 安田憲二、田中 勝 三菱重工業(株) 出口祥啓
- B 7-2 水熱ソフトプロセス法による木質系バイオマスの改質及び再生処理の研究
東北大学 宮本 徹、笠井憲雪、山崎伸道
- ポスター1 B 7-3 水熱ソフトプロセス法による未利用スギ材から有価物質の抽出と応用
東北大学 李志霞、林宏飛、尾家慶彦
- ポスター2 B 7-4 解体実態を基にした建築廃棄物の性状の検討
-廃棄物の回収率向上・異物混入量削減に向けた対策の提案-
東京理科大学 田中秀樹 鹿島建設(株) 間宮 尚 東京理科大学 小林謙介
- B 7-5 使用済みケミカルフィルタの洗浄再利用に関する研究
~ 超臨界二酸化炭素による有機汚染物質の除去 ~
ダイダ(株) 田村和也、中村 真 東北大学 猪股 宏
- B 7-6 ポリマー添加により改質した舗装アスファルトの劣化による化学構造変化
日本大学 岩淵雄介、菅野元行、真下 清
- B 7-7 廃石膏の低温熱分解による CaO 生成
北九州市立大学 橋本英幸
- B 7-8 灰溶融処理におけるガラスびんカレットの添加効果
東京都立産業技術研究所 小山秀美、小林政行 東京農工大学 堀尾正彰
- B 7-9 水熱ホットプレス法による発泡ガラス粉末の固化に関する研究
阿南工業高等専門学校 西岡 守、大西雄介

B 8 焼却灰の資源化 【 11月2日(水) 第3会場 9:00-10:45 】

- B 8-1 焼却飛灰無害化処理骨材の用途開発
住友金属鉱山(株) 川本孝次、友田勝博、松野基次
- B 8-2 都市ごみ焼却灰のセメント原料化リサイクル実証実験
(財)日本立地センター 秋元耕一郎 福岡大学 樋口壯太郎
福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝

	B 8-3	減圧加熱による溶融飛灰からの重金属塩化物の揮発促進 名古屋大学 河地貴浩 新東工業(株) 中山勝也 名古屋大学 松田仁樹
	B 8-4	溶融飛灰からの金属回収に関する研究 - 溶融飛灰性状と水洗処理による山元還元の可能性 - 北海道大学 岡田敬志、東條安匡、松藤敏彦
ポスター-1	B 8-5	畜産系焼却灰からのリン含有水溶液の調製と無機リン化合物への沈澱生成 宮崎大学 貝掛勝也、齋藤 誠、土手 裕
ポスター-2	B 8-6	ポリ塩化ビニルとの混合熱処理を利用する廃タイヤ焼却飛灰からの金属回収 名古屋市工業研究所 山口浩一、木下武彦、秋田重人
	B 8-7	石炭灰からのカリウム型ゼオライトの製造方法 木村化工機(株) 池田博史、 山川洋亮
ポスター-1	B 8-8	ボイラー蒸気を利用した燃焼残渣と有機物の混合処理による安定化 (独)国立環境研究所 大迫政浩、 崎田省吾、川端篤志
ポスター-2	B 8-9	石炭灰造粒砂の製造技術と環境性能 宇部興産(株) ・合一浩、大中 昭、太田幹夫
	B 8-10	家畜ふん焼却灰からの酸溶媒を用いたリン抽出条件の検討 宮崎大学 齋藤 誠、土手 裕、関戸知雄
ポスター-1	B 8-11	焼却灰を主原料とした焼成をしない固化材の開発 鹿児島工業高等専門学校 前野祐二、平田登基男、三原めぐみ
ポスター-2	B 8-12	循環流動層ボイラー焼却灰からのゼオライト合成における反応機構 東京工業高等専門学校 石井宏幸、川上春菜
	B 8-13	有機物の共存下における焼却灰中の塩素の溶出挙動 九州大学 竹本智典、島岡隆行、江藤次郎

B 9 溶融スラグの資源化 【 11月2日(水) 第3会場 11:00-12:45 】

	B 9-1	岩手・青森県境不法投棄物の分析と溶融処理 岩手県工業技術センター 菅原龍江、平野高広 岩手県環境保健研究センター 佐々木秀幸
ポスター-1	B 9-2	岩手・青森県境不法投棄物溶融スラグのコンクリート及びアスファルト混合物への利用 岩手県工業技術センター 平野高広、菅原龍江 岩手県環境保健研究センター 佐々木秀幸
	B 9-3	溶融スラグ密度の規定因子について 千葉県環境研究センター 原 雄、堤 克裕、依田彦太郎
	B 9-4	一般廃棄物溶融スラグを用いた地下空洞充填材の環境安全性(2) - 浸漬試験による長期的安全性の評価 - 飛鳥建設(株) 伊藤良治 (独)国立環境研究所 大迫政浩
ポスター-2	B 9-5	無機薬剤によるごみ溶融スラグの鉛溶出量の低減 栗田工業(株) 山崎武志、吉田恒行、松本克美
ポスター-1	B 9-6	溶融スラグおよび土壌中に含まれる金属類の塩酸抽出量 (独)国立環境研究所 貴田晶子、宇智田奈津代 京都大学 酒井伸一
ポスター-2	B 9-7	溶融スラグのアスファルト合材利用時の摩耗・粉塵飛散に関する実験的検討 (独)国立環境研究所 貴田晶子、大迫政浩 京都大学 酒井伸一
	B 9-8	下水汚泥溶融スラグ中の金属鉄のメスパウア - 分光による分析 (独)土木研究所 宮本綾子、尾崎正明 (株)コベルコ科研 大木継秋
	B 9-9	都市ごみ溶融スラグのセメント混和材としての有効利用に関する研究 茨城大学 海野拓哉、福澤公夫、郭 度連
ポスター-1	B 9-10	ごみ溶融スラグ細骨材の品質変動とこれを用いた高性能 AE 減水剤コンクリートの性状に関する研究 日本大学 大塚秀三 ものつくり大学 中田善久 新日本製鐵(株) 伊能泰夫
	B 9-11	各種ごみ溶融スラグ細骨材を用いた高性能 AE 減水剤コンクリートの調合に関する研究 ものつくり大学 鈴木大介 (株)内山アドバンス 斉藤丈士 川崎重工業(株) 菅田雅裕
ポスター-2	B 9-12	溶融スラグの品質変動とコンクリートの性状に与える影響 川崎重工業(株) 谷山教幸 (株)内山アドバンス 斉藤丈士 ものつくり大学 中田善久
	B 9-13	ごみ溶融スラグを用いたコンクリート中の鉄筋の腐食性状に関する実験的研究 (株)内山アドバンス 斉藤丈士 千葉工業大学 池永博威 川崎重工業(株) 菅田雅裕

B 1 0 その他有機系廃棄物の資源化(1) 【 11月1日(火) 第2会場 9:00-11:00 】

	B 10-1	各種無機接着剤を使用した廃棄コピー用紙の固化に関する研究 阿南工業高等専門学校 西岡 守、粟飯原史和
ポスター-1	B 10-2	蒸気プレス成型による古新聞のボード化に関する研究 阿南工業高等専門学校 西岡 守、江本裕美
	B 10-3	未利用竹材を用いた人に優しい遊具の開発 - 着色ボードの試作 - 阿南工業高等専門学校 高岸時夫、西岡 守 内野建築設計 内野輝明

	B 10-4	水蒸気処理による刈草・剪定枝等の植物廃棄物リサイクルプロセスの開発 石川島芝浦機械(株) 下田直樹、川手修一 石川島播磨重工業(株)	佐々裕美
	B 10-5	刈草・ホテイアオイのペレットおよび炭化による資源化実証実験 (株)西日本テックス 小指英雄 香川大学	長谷川暁
	B 10-6	廃テレフタル酸炭化物のダイオキシン類吸着剤への応用 福井県工業技術センター 宮下節男 福井県	宮崎孝司
ホスター-2	B 10-7	廃タイヤの炭化による資源化方法 伊藤忠エネクスホームライフ中部(株) 奥井正儀 三重県 佐藤邦彦 四日市大学	高橋正昭
ホスター-1	B 10-8	ビールかすからの活性炭の製造および含有タンパク質の賦活工程への影響 滋賀県東北部工業技術センター 脇坂博之、三宅 肇 京都工芸繊維大学	河原 豊
	B 10-9	バイオディーゼル燃料生成過程におけるエステル交換反応のNMR解析 東北大学 川寄康平、金 放鳴、木下 睦	
	B 10-10	廃動物油脂からのバイオディーゼル燃料製造に関する検討 日本大学 中森秀紀、平野勝巳、真下 清	
	B 10-11	油化・炭化施設の基準検討のための実態調査 (財)廃棄物研究財団 杉山吉男、山口隆二 パシフィックコンサルタンツ(株)	雨宮紀子
B 1 1 その他有機系廃棄物の資源化(2) 【11月1日(火) 第2会場 13:15-15:00】			
	B 11-1	有用物質生産システム(昆虫工場)から回収したカイコ幼虫表皮の資源化 - キチンの抽出とキチンを素材としたバイマテリアルの作出 - (独)農業生物資源研究所 羽賀篤信 ウッジ技術大学 Zbigniew Draczyński	
	B 11-2	木質細片を用いた有機性廃棄物分解処理に関する研究 千葉県環境研究センター 石渡康尊、原 雄 (株)三和製作所 深山信亜	
ホスター-2	B 11-3	Rhizomucor pusillus HHT-1株が生産する酵素群によるクルミの殻の酵素加水分解 岐阜大学 井戸田修、村上恵里子、高見澤一裕	
	B 11-4	Clostridium sp.を用いた焼酎蒸留粕溶液からの水素生産 電源開発(株) 西村恭彦、松本光史	
	B 11-5	食品廃棄物の水素・メタン発酵におけるアルカリ前処理効果 (株)タクマ 和田克士、河野孝志、宍田健一	
ホスター-1	B 11-6	不適正最終処分場等の修復・再生システムの一環としてのバイオガス回収の可能性の検討(1) 静岡理工科大学 惣田昱夫 北海道大学 古市 徹、石井一英	
	B 11-7	アンケート調査による畜産農家の家畜ふん尿処理実態の把握 北海道大学 清水心太、古市 徹、谷川 昇	
	B 11-8	富山県内におけるプランテーションバイオマスの選定 (株)富山環境整備 江尻容子、松浦英樹 富山県立大学	立田真文
	B 11-9	有機循環資源のバックアップシステムとしての環境調和型覆土助材化 福岡大学 谷村年基、立藤綾子、松藤康司	
C 1 焼却・炭化技術 【10月31日(月) 第3会場 10:00-11:45】			
	C 1-1	ストーカ式焼却炉における低空気比燃焼 (株)神鋼環境ソリューション 宮本博司、伊藤 正、山上恵造	
	C 1-2	ごみ焼却熱エネルギーの高度利用について Re-energy(株) 山田勝重	
	C 1-3	シンガポールの大型ストーカ焼却炉の運転状況と設備 三菱重工業(株) 清原信男	
	C 1-4	TG-DTA-MSを用いた使用済み農ビからの活性炭製造条件の評価 豊橋技術科学大学 角田範義、城野教悟、大北博宣	
ホスター-2	C 1-5	古紙活性炭の細孔構造とトルエン吸着性能 東京都立産業技術研究所 島田勝廣 東京農工大学 中川祐帆、岡山隆之	
	C 1-6	鶏糞炭化物の製造および吸着性能 東京農工大学 藤城 圭、岡山隆之 東京都産業技術研究所 島田勝廣	
ホスター-1	C 1-7	炭化廃木材の通電による銅の除去法 (独)国立環境研究所 後藤純雄、中島大介 京都大学 酒井伸一	
	C 1-8	廃フェノール樹脂の炭化・賦活挙動について 秋田県産業総合研究センター 遠田幸生、竹村昌太、佐藤和美	
	C 1-9	活性汚泥処理槽への汚泥炭化製品添加の効果 川崎重工業(株) 津澤正樹 金沢大学 池本良子	
ホスター-2	C 1-10	熱量収支および炭素収支による炭化事例の評価に関する研究 京都大学 内海秀樹	

C 2 排ガス処理/ガス化溶融 【 10月31日(月) 第3会場 14:15-16:00 】

- C 2-1 高性能ダスト払落しノズルの開発 (株)タクマ 吉本 聡
- ホースター-1 C 2-2 貝殻による乾式脱塩特性と湿式脱硫特性 豊橋技術科学大学 成瀬一郎、田平修一
- C 2-3 尿素添加によるごみ焼却過程におけるダイオキシン類の化学的生成抑制
- 実炉における抑制実験結果 -
Jenny Komatsu 京都大学 高岡昌輝、武田信夫
- C 2-4 建設廃材を利用したガス化改質発電システムの研究開発 (株)ブランテック 鳴海良成、鈴木雄三 豊橋技術科学大学 成瀬一郎
- C 2-5 触媒を用いた低温ガス化-改質による都市ごみからの水素生成に関する基礎研究 (独)国立環境研究所 呉 畏、川本克也、倉持秀敏
- ホースター-2 C 2-6 Kリッチバイオマス混合による熱分解過程のHClの排出低減化特性 (独)国立環境研究所 倉持秀敏、呉 畏、川本克也
- C 2-7 川口市朝日環境センターの稼働実績 (株)荏原製作所 加藤涼一 荏原エンジニアリングサービス(株) 椎名知行、小林隆男
- C 2-8 シャフト炉式ガス化溶融炉による自動車破碎残渣(ASR)の処理と臭素化難燃剤およびダイオキシン類縁化合物の挙動(第2報) 新日本製鐵(株) 谷垣信宏 愛媛大学 高橋 真 京都大学 酒井伸一
- C 2-9 高効率廃棄物発電ボイラー過熱器の技術開発と稼働実態 新日本製鐵(株) 竹田雅文 亀山市 木下弘志 日鐵プラント設計(株) 加藤敏郎

C 3 ダイオキシン分解 【 10月31日(月) 第3会場 16:15-18:00 】

- C 3-1 間接熱脱着法によるダイオキシン類汚染土壌の浄化について 大阪産業大学 谷口省吾、尾崎博明、小泉 亮
- ホースター-1 C 3-2 揮発脱離分解プロセスによる最終処分場掘り起こし飛灰の無害化 (財)日本環境衛生センター 藤吉秀昭 JFEエンジニアリング(株) 平山 敦、岩崎敏彦
- ホースター-2 C 3-3 還元加熱法による高濃度ダイオキシン類汚染土壌処理 (株)神鋼環境ソリューション 小倉正裕、川井隆夫、泰永順久
- ホースター-1 C 3-4 埋立地再生に伴うダイオキシン類無害化実験 ミヨシ油脂(株) 小川 隆 福岡大学 樋口壯太郎 ミヨシ油脂(株) 川島正毅
- C 3-5 マイクロ波プラズマによるダイオキシン類分解に及ぼす飛灰性状の影響 名古屋大学 今井康友、笹井 亮、伊藤秀章
- ホースター-2 C 3-6 マイクロ波プラズマを用いた活性炭に吸着した有害有機物の分解 名古屋大学 佐藤 綾、笹井 亮、伊藤秀章
- C 3-7 ヘキサクロロベンゼンの紫外線分解及び量子化学計算による分解経路の特定 東京農工大学 内藤勇太、中井智司、細見正明
- C 3-8 酸化カルシウムによるダイオキシン類汚染物質の化学処理 愛媛大学 高橋知史、田中崇太、本田克久
- C 3-9 ダイオキシン類汚染土壌における白色腐朽菌の動態と分解性に関する研究 福岡大学 宮原喬志、鈴木慎也、松藤康司
- C 3-10 白色腐朽担子菌によるダイオキシンを含有するクロロニトロフェン(CNP)製剤の直接処理 九州大学 亀井一郎、近藤隆一郎
- C 3-11 真空加熱処理による飛灰中重金属除去 名古屋大学 三坂容平、沢辺恭一 (財)豊田理化学研究所・(株)豊栄商会 正嶋宏祐

C 4 ダイオキシン生成/ダイオキシン類等のモニタリング 【 11月1日(火) 第3会場 9:00-10:45 】

- ホースター-1 C 4-1 ダイオキシン類生成に及ぼす炉内酸素濃度の影響 (独)産業技術総合研究所 畑中健志、北島暁雄、竹内正雄
- C 4-2 ごみ焼却炉における排ガス中ダイオキシン類の同族体及び異性体構成(2)排ガス処理装置での変動要因 菱日エンジニアリング(株) 小川 弘、須藤理枝子
- C 4-3 灰試料の加熱によるダイオキシン類・臭素系ダイオキシン類の生成 (独)国立環境研究所 川本克也、石川紀子
- C 4-4 ハウスダスト中の臭素系難燃剤及びダイオキシン類縁化合物の化学分析/バイオアッセイ統合評価 (独)国立環境研究所 鈴木 剛、滝上英孝、能勢和聡
- C 4-5 塩化銅模擬飛灰中における銅の化学形態変化に関するDXAFSによるin situ昇温実験 京都大学 藤森 崇、高岡昌輝、武田信生

	C 4-6	排ガス中における臭素系ダイオキシン類の生成に関する多成分平衡熱力学計算	東北大学 柴田悦郎、中村 崇	京都大学	酒井伸一
ポスター-2	C 4-7	ASR 溶融炉排ガス中におけるダイオキシン類生成に関する熱力学計算シミュレーション	東北大学 中村 崇、柴田悦郎	京都大学	酒井伸一
	C 4-8	焼却排ガス・飛灰におけるダイオキシン類縁物の排出調査と評価方法の提案	(独)産業技術総合研究所 三宅祐一 横浜国立大学 加藤みか、		浦野紘平
ポスター-1	C 4-9	廃棄物焼却施設の排ガスおよび炉内作業環境中の有機ハロゲン化合物の連続測定	電源開発(株) 名久井博之、野口嘉一	藤沢市	小芝一正
ポスター-2	C 4-10	産業廃棄物焼却炉排ガスの有機ハロゲン量指標による評価	(独)国立環境研究所 川本克也、依田育子	(株)シンシア	今泉隆志
ポスター-1	C 4-11	一般廃棄物焼却施設排ガス中の有機臭素系化合物について	大阪市立環境科学研究所 高倉晃人、鶴保謙四郎	京都大学	渡辺信久
	C 4-12	市販カートリッジカラムを用いた迅速なダイオキシン類分析の検討	新潟県保健環境科学研究所		大野勝之

C 5 焼却灰性状・安定化 【 11月1日(火) 第3会場 13:00-15:00 】

ポスター-2	C 5-1	蛍光X線法による焼却飛灰の主成分・微量成分分析	明治大学	大淵敦司、中村利廣	
	C 5-2	石炭灰からのほう素の溶出挙動の解明	東北大学 久保裕也、長坂徹也	新日本製鐵(株)	林 俊一
	C 5-3	改良 BCR 逐次抽出法による都市ごみ焼却飛灰中の重金属と溶出ポテンシャル	大阪市立大学 貫上佳則、雑賀弘晃	岡山大学	小野芳朗
	C 5-4	灰溶融プロセスにおける廃プラスチックのケミカルリサイクル	京都大学 萩原崇博、高岡昌輝、大下和徹		
ポスター-1	C 5-5	溶融飛灰中重金属の連続抽出による形態分析に関する研究	(株)タクマ 鈴木 賢	北海道大学	岡田敬志、東條安匡
	C 5-6	石炭灰フライアッシュの基礎特性(灰形状)について	電源開発(株) 武藤憲一、三宅淳一	太平洋セメント(株)	田野崎隆雄
	C 5-7	都市ごみ焼却飛灰懸濁液中の溶存重金属難溶化特性と養生の影響	秋田工業高等専門学校 肴倉宏史	秋田大学	近藤洋平
	C 5-8	組成改変を伴う都市ごみ焼却灰水熱処理の試み	九州大学 江藤次郎、河越健至、島岡隆行		
ポスター-2	C 5-9	点滴濾紙 - 蛍光X線分析法による焼却飛灰溶出液中の Cr, Ni, Cu, Zn, Pb の分析	明治大学 尾崎恭平、大淵敦司、中村利廣		
	C 5-10	攪拌流動層加熱による飛灰中 Pb 溶出性低下の解明	J F E エンジニアリング(株) 山本 浩、平山 敦	京都大学	高岡昌輝
ポスター-1	C 5-11	溶融飛灰からの重金属類と塩分の湿式分離の試み	京都大学 水谷 聡、渡辺信久	(株)山武	橋本 健
	C 5-12	高機能型飛灰処理薬剤による重金属類の溶出抑制技術	荏原エンジニアリングサービス(株)		稲村准一、池田 太

D 1 埋立地浸出水 【 10月31日(月) 第4会場 10:00-11:45 】

	D 1-1	オゾン電解併用処理による 1,4-ジオキサン分解特性	龍谷大学 岸本直之	三菱重工業(株)	保田雄二、水谷 洋
	D 1-2	処分場モデルを用いた海面埋立廃棄物最終処分場における水質汚濁予測		横浜市	福原一朗
ポスター-2	D 1-3	埋立地浸出水等の親水性化学物質(第1報)	埼玉県環境科学国際センター 倉田泰人、小野雄策	岡山大学	小野芳朗
	D 1-4	排ガス中の二酸化炭素を用いた処分場浸出水処理	(株)フジタ 久保田洋 三井造船(株) 久芳良則	(株)フジタ	矢島 聡
	D 1-5	海面埋立廃棄物最終処分場における浸出水循環式実証モデル実験	北九州市環境科学研究所 肥塚隆男、山田 傑、門上希和夫		
ポスター-1	D 1-6	浸出水中の垂鉛が水生植物ウキクサに及ぼす影響	神戸大学 岡村秀雄、久地井美央、西川高紘		
ポスター-2	D 1-7	浸出水処理施設の除去性能の調査	(独)国立環境研究所 鄭 修貞、山田正人、井上雄三		
	D 1-8	最終処分場浸出水の真空蒸発法主体の処理実績	(株)サクラ 石田和彦、水谷淳二、本多賢次		
ポスター-1	D 1-9	最終処分場埋立地の水分管理に関する基礎的研究	岡山大学 河原長美、北村大輔		

- D 1-10 埋立処分される産業廃棄物の排出実態と溶出特性に関する基礎研究(3)
 - 混合した産業廃棄物の埋立実験 -
 福岡大学 柳瀬龍二、松藤康司 (社)全国産業廃棄物連合会 香川智紀
- D 1-11 廃棄物処理プロセスより発生する副生塩の再利用技術に関する研究
 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝 福岡大学 樋口壯太郎 (株)クボタ 長谷川哲宏
- ポスター-2 D 1-12 廃棄物処理に伴い発生する副生塩のプラスチック固化埋立方法
 福岡大学 樋口壯太郎 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝
 (株)横河ブリッジ 永田 考

D 2 埋立地しゃ水(1) 【10月31日(月) 第4会場 14:15-16:00】

- D 2-1 二重シート構造(袋状)による健全性評価技術の開発: その1
 国土技術政策総合研究所 小田勝也 若築建設(株) 木俣陽一 太洋興業(株) 下田宏治
- ポスター-1 D 2-2 二重シート構造(袋状)による健全性評価技術の開発: その2
 国土技術政策総合研究所 狩野真吾 (株)大林組 大西健司 東ソー・ニッケミ(株) 松村 聡
- ポスター-2 D 2-3 斜面上でのアスファルトコンクリートしゃ水工の施工方法
 (株)大林組 柴田健司、石田道彦 大林道路(株) 堀 浩明
- D 2-4 ウレタン吹付けを用いた最終処分場遮水工における新補強工法の提案
 (株)ブリヂストン 原田高志、柏木哲也、平石哲夫
- D 2-5 土木遮水シートの低温での折曲がり性能
 三菱化学MKV(株) 近藤三樹郎 国土技術政策総合研究所 狩野真吾、小田勝也
- D 2-6 廃棄物処分場底部遮水工の遮水性能の等価性評価に関する基本的考察
 京都大学 勝見 武、乾 徹、嘉門雅史
- D 2-7 高密度ポリエチレン波付管継手部のアスファルト定型シール止水材の開発
 (株)大林組 嶽本政宏、前田 章 日新工業(株) 張替正巳
- ポスター-1 D 2-8 準好気性廃棄物最終処分場の遮水工近傍温度に関する研究
 室蘭工業大学 吉田英樹 東急建設(株) 濱地宏章 室蘭工業大学 穂積 準
- D 2-9 最終処分場の歴史的視点からの考察 - 遮水システムの変遷(その1) -
 大成建設(株) 谷澤房郎 清水建設(株) 瀬尾 潔 (株)ブリヂストン 原田高志
- D 2-10 埋立地からの浸出水漏水・溢流量推定モデルの作成
 北海道大学 花田茂久、東條安匡、松藤敏彦

D 3 埋立地しゃ水(2)/埋立地利用 【10月31日(月) 第4会場 16:15-18:00】

- ポスター-2 D 3-1 産業廃棄物の埋立物に関する特性の調査と分類法の検討
 北海道大学 東條安匡、牧志 諒、松藤敏彦
- D 3-2 膨潤止水材によるH-H継手を施した連結鋼管矢板の遮水処理工法
 京都大学 稲積真哉、木村 亮 連結鋼管矢板工法研究会 小林賢勝
- D 3-3 ベントナイト混合土への現場透水試験装置を用いた品質管理事例
 飛鳥建設(株) 松崎達也、沼田淳紀 岡山大学 花村哲也
- D 3-4 接合部を考慮した不織布の水圧負荷時の変形強度特性
 国土技術政策総合研究所 狩野真吾、小田勝也 土木シート技術協会 近藤三樹郎
- ポスター-1 D 3-5 管理型廃棄物埋立護岸遮水シートの動的挙動に関する模型振動実験
 国土技術政策総合研究所 狩野真吾、小田勝也 五洋建設(株) 吉田 誠
- D 3-6 安定化促進に向けたキャピラリーバリア型覆土の検討
 日本国土開発(株) 坂本 篤、鈴木正人 岡山大学 西垣 誠
- D 3-7 高性能遮水パネル工法の開発(その3) - 施工性と継手遮水性能の実証 -
 (株)テノックス 田中裕之 (株)大林組 嶽本政宏 新日本製鐵(株) 赤司有三
- ポスター-2 D 3-8 電気伝導率を用いたベントナイト混合土の品質管理
 西武建設(株) 成島誠一 アキュテック(株) 成海みね子、稲元裕二
- D 3-9 修復性遮水ライナーの法面への適用
 鹿島建設(株) 小澤一喜、伴野 茂、加納 光
- D 3-10 最終処分場跡地利用に関する実態調査結果について
 (財)廃棄物研究財団 杉山吉男、清野昭則、衛藤 学

D 4 埋立地モニタリング 【11月1日(火) 第4会場 9:00-11:00】

- D 4-1 廃棄物層調査における比抵抗トモグラフィの活用
 千葉県環境研究センター 香村一夫、石渡康尊、原 雄
- ポスター-1 D 4-2 比抵抗トモグラフィによるテストセル内の一般廃棄物のモニタリング
 (独)国立環境研究所 遠藤和人 (株)ダイヤコンサルタント 杉本芳博、山田直之

	D 4-3	管理型最終処分場の廃止基準に関する考察(4)	埼玉県環境科学国際センター	長森正尚、小野雄策	岡山大学	小野芳朗		
	D 4-4	最終処分場地表面からの埋立地ガス放出挙動の原位置評価手法の開発	龍谷大学	石垣智基	埼玉県環境科学国際センター	小野雄策 (独)国立環境研究所	山田正人	
	D 4-5	大規模クロードシステム処分場における内部環境監視システムの適用と検証	理研計器(株)	畔蒜祐治	(株)大林組	嶽本政宏、嶋谷 孝		
ポスター2	D 4-6	処分場ガス発生・回収量の推定に関する調査研究	鹿島建設(株)	間宮 尚、阪東浩造、		小澤一喜		
	D 4-7	不法投棄サイトのガス調査結果と修復工事への適用	清水建設(株)	田崎雅晴	信州大学	藤縄克之	北海道大学	古市 徹
ポスター1	D 4-8	最終処分場の有害物質の安全安心保障その5「処分場地下水モデル」	岡山大学	水藤 寛、諸泉利嗣、		栗原孝次		
ポスター2	D 4-9	海面処分場に適用可能な漏水検知システム - 材料の電気抵抗特性に関する基礎的検討 -	国土技術政策総合研究所	小田勝也、狩野真吾	五洋建設(株)	羽田 晃		
	D 4-10	多時期衛星画像による大規模廃棄物埋立地の植生モニタリング	九州大学	小宮哲平、中山裕文、		島岡隆行		
	D 4-11	遺伝子の酸化損傷を指標とした簡易生物毒性試験法による最終処分場浸出水の有毒性評価について	(株)日本環境工学設計事務所	田代久美	九州大学	高木厚司		
	D 4-12	遺伝子の酸化損傷指標を利用した簡易生物毒性評価法	九州大学	高木厚司	(株)日本環境工学設計事務所	田代久美		
					福岡県リサイクル総合研究センター	花嶋正孝		

D 5 化学物質の溶出と挙動/バイオモニタリング 【 11月1日(火) 第4会場 13:00-15:00 】

ポスター2	D 5-1	高アルカリ性水溶液による廃棄物中化学物質の溶出特性	埼玉県環境科学国際センター	渡辺洋一、小野雄策	岡山大学	小野芳朗		
ポスター1	D 5-2	埋立物からのビスフェノールAの溶出速度に関する基礎的研究	高知大学	藤原 拓、玉田 徹、		福田称子		
	D 5-3	プラスチック系廃棄物からのフェノール類の溶出特性に関する実験的研究	愛媛大学	西村文武	岡山大学	小野芳朗	高知大学	藤原 拓
ポスター2	D 5-4	最終処分場浸出水の物理化学的特性(第二報) - 廃棄物溶出試験液の三次元蛍光分光特性 -	埼玉県環境科学国際センター	川寄幹生、小野雄策	岡山大学	小野芳朗		
ポスター1	D 5-5	埋立処分される産業廃棄物の排出実態と溶出特性に関する基礎研究(2)						
		- 産業廃棄物の混合組み合わせによる溶出特性 -	福岡大学	古賀 謙、松藤康司、		柳瀬龍二		
	D 5-6	カラム試験による薬剤処理およびセメント処理飛灰からの無機元素溶出	岡山大学	鈴木和将、		小野芳朗		
	D 5-7	セメント固化灰中に含まれる多環芳香族炭化水素類の溶出挙動	岡山大学	小瀬知洋、		小野芳朗		
ポスター2	D 5-8	最終処分場における有機化合物の溶出挙動に及ぼす溶存有機物の影響	(独)科学技術振興機構	姉川 彩	岡山大学	小瀬和洋、	小野芳朗	
ポスター1	D 5-9	最終処分場の有害物質の安全・安心保障その3「内部保有水メカニズム」	(独)国立環境研究所	遠藤和人	埼玉県環境科学国際センター	小野雄策		
					岡山大学	小野芳朗		
	D 5-10	廃棄物処分場からの有害物質の排出原因としての処分層の高温	東京工業大学	浦瀬太郎、Samerjai Panyosaranya				
	D 5-11	焼却灰埋立海面処分場の生化学的条件と重金属の動態に関する基礎的検討	京都大学	嘉門雅史、勝見 武、		乾 徹		
	D 5-12	産業廃棄物埋立処分場搬入物の調査と埋立負荷の将来予測に関する研究	太平洋セメント(株)	筑紫康男	北海道大学	東條安匡、	松藤敏彦	
	D 5-13	廃棄物分解における微生物指標についての考察	埼玉県環境科学国際センター	長谷隆仁、小野雄策	岡山大学	小野芳朗		
	D 5-14	埋立処分場浸出水ならびに廃棄物のヒメダカ試験系による評価と塩類の影響	岡山大学	藤本 洋、		毛利紫乃、	小野芳朗	
ポスター2	D 5-15	陸生昆虫を用いた個体廃棄物の生態毒性評価手法の検討	(独)国立環境研究所	阿部 誠、		山田正人、	井上雄三	

D 6 埋立地安定化(1) 【 11月2日(水) 第4会場 9:00-10:45 】

ポスター1	D 6-1	最終処分場の有害物質の安全・安心保障その4「処分場の診断」	(独)国立環境研究所	山田正人、井上雄三	岡山大学	小野芳朗
-------	-------	-------------------------------	------------	-----------	------	------

	D 6-2	廃棄物埋立地の早期廃止・安定化促進に関する研究 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝 福岡大学 樋口壯太郎 (株)クボタ 吉崎耕大
	D 6-3	安定型処分場の機能回復に関する研究 福岡大学 樋口壯太郎、山田龍義、為、田一雄
	D 6-4	RP 工法（埋立廃棄物静的圧縮減容化工法）による埋立廃棄物安定化促進実験 ハザマ 宇良直子、則松 勇、弘末文紀
ホースター-2	D 6-5	不法投棄産廃等掘削時の作業安全確保を目的とした有害ガス対策技術の開発 - 不飽和帯への強制空気注入による好気分解促進 - (株)大林組 峠 和男、黒木泰貴 北海道大学 古市 徹
	D 6-6	最終処分場埋立地の無害化・資源化技術の調査および試験（第2報） ユニチカ(株) 中尾 毅、長澤松太郎 (財)日本環境衛生センター 藤吉秀昭
	D 6-7	廃棄物洗浄による埋立地リニューアル・資源化技術開発 福岡大学 為、田一雄、樋口壯太郎、大和竹史
ホースター-1	D 6-8	廃棄物洗浄による埋立前処理、資源化技術の開発 安養大学 李 南勲 福岡大学 樋口壯太郎、為、田一雄
	D 6-9	埋立前処理としての洗浄操作が浸出水におよぼす影響調査（第2報） ユニチカ(株) 三角文彦 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝 福岡大学 樋口壯太郎
	D 6-10	焼却灰の埋立管理における前処理の効果 (株)フジタ 矢島 聡 三井造船(株) 久芳良則 (株)フジタ 久保田洋
ホースター-2	D 6-11	廃棄物洗浄型埋立処理（WOW）システムの実用化のためのFS調査事例 日本技術開発(株) 古田秀雄 福岡大学 樋口壯太郎 日本技術開発(株) 松本 真

D 7 埋立地安定化（2） 【 11月2日(水) 第4会場 11:00-12:45 】

ホースター-1	D 7-1	最終処分場の有害物質の安全・安心保障その1「水量の制御と豪雨対策」 岡山大学 西垣 誠、小松 満 日本国土開発(株) 坂本 篤
	D 7-2	ジオシンセティックスによるキャッピングの浸透抑制に関する考察 九州大学 田中純一、島岡隆行、小宮哲平
	D 7-3	自然降雨に暴露した焼却灰層からの浸出水と処分場の安定化促進 NPO 最終処分場技術システム研究協会 今井 淳 前田建設工業(株) 田島直毅 (株)クボタ 堀井安雄
	D 7-4	クローズドシステム処分場における埋立物の安定化のための基礎的研究 (株)奥村組 大塚義一 (株)クボタ 塩山昌彦 北海道大学 石井一英
	D 7-5	クローズドシステム処分場における廃棄物安定化指標の調査研究 (株)福田組 小日向隆 福岡大学 柳瀬龍二 北海道大学 石井一英
	D 7-6	1m 深地温測定による廃棄物層（有機物）の3次元分布探査 日本技術開発(株) 田中英幸 福岡大学 樋口壯太郎 日本技術開発(株) 原 伸匡
ホースター-2	D 7-7	最終処分場の有害物質の安全・安心保障その2「内部保有水水質制御」 埼玉県環境科学国際センター 小野雄策、倉田泰人 岡山大学 小野芳朗
ホースター-1	D 7-8	廃棄物からの長期的重金属溶出に関する研究 宮崎大学 土手 裕、関戸知雄
ホースター-2	D 7-9	廃棄物に由来する硫化水素発生原因物質の特定と硫化水素発生対策 福岡大学 武下俊宏 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝 福岡大学 樋口壯太郎
ホースター-1	D 7-10	廃棄物処分場における透水性反応バリアとしての中間および底部覆土の開発 - フェノール類の除去効果 - 埼玉県環境科学国際センター 成岡朋弘、小野雄策 岡山大学 小野芳朗
	D 7-11	廃棄物海面埋立処分場からの浸出水の合理的マネジメントに関する研究 岡山大学 田中 勝、安田憲二、藤原康弘
	D 7-12	廃棄物最終処分場埋立層に存在する微生物生態系の評価（その2） (独)国立環境研究所 澤村啓美 龍谷大学 石垣智基 (独)国立環境研究所 山田正人

E 1 PCB 処理・分析 【 10月31日(月) 第1会場 10:00-11:45 】

ホースター-2	E 1-1	金属ナトリウム粒子群と PCB との脱塩素反応プロセス解析 名古屋大学 黄 宏宇、小林敬幸 トヨタ自動車(株) 松山喜代志
	E 1-2	金属ナトリウム分散体法による PCB 分解生成物について (独)国立環境研究所 野馬幸生 京都大学 酒井伸一 トヨタ自動車(株) 光原好人
	E 1-3	PCB 汚染物等のプラズマ溶融分解技術 (株)神鋼環境ソリューション 田頭成能、高橋正光 新日本製鐵(株) 村田光也
	E 1-4	低濃度 PCBs 含有廃油の焼却分解技術の開発 横浜国立大学 米田和正、加藤みか、浦野紘平

	E 1-5	PCB の SD 無害化処理残渣を原料とした活性炭の吸着特性 名古屋大学 小林敬幸、黄 宏宇 トヨタ自動車(株) 松山喜代志
	E 1-6	有機洗浄溶媒共存下における PCB 蒸気の活性炭吸着特性 東京農工大学 西村健志、高田 誠 (株)東芝 小原 敦
	E 1-7	環境動態モデルを用いた PCBs 排出量の推定 京都大学 二宮 隆 (独)国立環境研究所 平井康宏 京都大学 酒井伸一
ホスター 1	E 1-8	COSMO-RS 法による PCB の平衡蒸気圧の推算 (株)東芝 中条克彦 東北大学 柴田悦郎、中村 崇
ホスター 2	E 1-9	廃棄物試料中 PCB の組成及び給源について (独)国立環境研究所 山本貴士、野馬幸生 京都大学 酒井伸一
	E 1-10	室内大気中の PCB サンプリング用カートリッジについて お茶の水女子大学 石川 紫 (独)国立環境研究所 野馬幸生 昭和電工(株) 篠田晶子

E 2 土壌・地下水汚染 【 10月31日(月) 第1会場 14:30-16:00 】

	E 2-1	家畜糞尿の汚染源評価と河川水質への影響 札幌市 松田悠見 北海道大学 古市 徹、石井一英
	E 2-2	トリクロロエチレンを吸着した粒状活性炭の過酸化水素を用いた湿式酸化処理による再生 福岡大学 大川清和、武下俊宏、中野勝之
ホスター 1	E 2-3	東南アジア向け地下水ヒ素簡易浄水器の検討 愛媛大学 山下正純、坂田俊彦、本田克久
	E 2-4	低濃度ヒ素汚染土壌の不溶化処理事例 (株)鴻池組 大山 将、荻原 誠、高田靖雄
	E 2-5	土壌重金属汚染と土壌の直接摂取による健康リスクの評価 (独)国立環境研究所 坂内 修 京都大学 米田 稔、森澤眞輔
	E 2-6	数値シミュレーションによる降雨の影響を考慮した地下水流れの予測 北海道大学 長山真子、古市 徹、石井一英
	E 2-7	土壌・地下水汚染データの GIS を用いた統合化による汚染現場の解析事例 北海道大学 上村友美、古市 徹、石井一英
ホスター 2	E 2-8	土壌・地下水汚染診断・修復支援データベースシステムの設計と構築 (株)大林組 佐々木哲男 北海道大学 佐藤雄大、古市 徹
ホスター 1	E 2-9	土壌・地下水汚染診断・修復における報告書作成支援システムの開発 東和科学(株) 森下兼年 北海道大学 石井一英、古市 徹
ホスター 2	E 2-10	廃棄物に起因する汚染現場の修復代替案に関する研究 (株)クボタ 寺尾 康 (株)大林組 峠 和男 北海道大学 古市 徹
ホスター 1	E 2-11	環境中からの PCE 分解菌等を検出するための ITS 領域をプローブとした DNA マイクロアレイの作製 岐阜大学 中原大輔、Randolph Scott Jr.、高見澤一裕
ホスター 2	E 2-12	不法投棄廃棄物の嫌氣的バイオレメディエーション技術の開発に向けた室内実験 北海道大学 古市 徹 東和科学(株) 川原恵一郎、橋本 学
ホスター 1	E 2-13	油汚染土壌の原位置バイオレメディエーションにおける油分除去効率 (株)鴻池組 田中宏幸、笹本 謙、吉田清司

E 3 有害性試験 【 11月1日(火) 第1会場 9:00-10:45 】

	E 3-1	不正軽油製造に伴う廃棄物について 三重県科学技術振興センター 吉村英基、加藤 進、広瀬和久
	E 3-2	溶融スラグ中砒素の分析 沖縄県衛生環境研究所 宮城俊彦、渡口 輝
	E 3-3	不法投棄廃棄物等に含まれる化学物質の包括的計測手法の開発に関する研究 (独)国立環境研究所 鈴木 茂、安原昭夫 大阪府環境情報センター 上堀美知子
	E 3-4	廃棄物埋立地浸出水等に含まれる化学物質の LC/MS による一斉スクリーニング法に関する研究 大阪府環境情報センター 上堀美知子 (独)国立環境研究所 鈴木 茂
	E 3-5	欧州規格による廃棄物のキャラクタリゼーションについて (3) 太平洋セメント(株) 田野崎隆雄、中村和史 (財)岡山県環境保全事業団 築谷淳志
	E 3-6	埋立廃棄物のキャラクタリゼーション (1) 太平洋セメント(株) 田野崎隆雄、三浦啓一 岡山大学 小野芳朗
	E 3-7	難燃加工プラスチックからの臭素系難燃剤の溶出特性(第2報) - 溶出メカニズムに関する一考察 - (独)国立環境研究所 大迫政浩、川端篤志 韓国木浦海洋大学 金 容珍
ホスター 2	E 3-8	埋立地ボーリングコアのバイオアッセイを用いた有害性評価 東京工業高等専門学校 中山秀謹、庄司 良 (独)国立環境研究所 山田正人
ホスター 1	E 3-9	廃棄物安全性評価へのバイオアベイラビリティ概念の適用 (独)国立環境研究所 山田亜矢 新日本製鐵(株) 加藤敏朗 岡山大学 小野芳朗

ポスター2 E 3-10 廃棄物焼却灰溶出試料が陸生植物に及ぼす影響評価
東京工業高等専門学校 浦田真嗣、庄司 良、飯田 裕

E 4 有害廃棄物・廃水処理 【 11月1日(火) 第1会場 13:00-15:00 】

- ポスター1 E 4-1 産業廃棄物焼却施設における POPs 等農薬の無害化処理について
呉羽環境(株) 福田弘之、堀口 司、 小林茂樹
- E 4-2 塩素化処理による固体廃棄物中の重金属の揮発挙動
新東工業(株) 中山勝也 名古屋大学 河地貴浩、松田仁樹
- E 4-3 チタン酸金属塩触媒 in-situ 水熱合成超臨界水酸化法におけるチタン粒子を用いた無機塩の析出管理とその数値モデル的検討
(独)国立環境研究所 高橋史武 東京大学 福士謙介、山本和夫
- ポスター2 E 4-4 超臨界水による有害化学物質の分解処理
日本大学 関口博之、田中裕之
- E 4-5 高機能セラミックスを用いた着色廃液の脱色について
大阪産業大学 高浪龍平、尾崎博明、山田 修
- E 4-6 水熱鉍化法によるホウ素、フッ素含有工業廃水からの資源回収と再生
名古屋大学 板倉 剛、笹井 亮、伊藤秀章
- E 4-7 リンゴジュースカスとクエン酸を利用したホタテ貝内臓廃棄物からのカドミウムの除去
佐賀大学 井上勝利、原田浩幸 ユニレックス(株) 森田 穣
- E 4-8 ポリエチレン粒子を用いた水からのダイオキシン類吸着除去
大阪大学 川端弘俊、碓井建夫
- ポスター1 E 4-9 Na イオン供給システムを用いた電気化学的脱塩素化処理の最適化の検討
筑波大学 三好久美子 石福金属興業(株) 亀ヶ谷洋一 筑波大学 松村正利
- ポスター2 E 4-10 放射性廃液からの有用金属の回収
芝浦工業大学 滝沢一善 (財)産業創造研究所 新井 剛、倉岡悦周
- E 4-11 組成が不明な化学系実験廃液の適正処理に向けた分析システム
東京大学 中尾英明、鈴木良實、尾張真則
- E 4-12 腐朽木材を用いた硝酸性窒素含有排水の生物学的脱窒処理
東北大学 惟村奈生、溝口忠昭、吉岡敏明

F International session 【 Monday, October 31 2F SAKURA HALL 12:30-14:00 】

- poster1 F 1-1 Measurement of Particle Size and Shape of New York City Municipal Solid Waste and Combustion Residues Using Image Analysis
Masato Nakamura, Marco J. Castaldi, Nickolas J. Themelis, Columbia University
- poster1 F 1-2 International Trade of Recyclable Resource in Asia
Aya Yoshida, University of Tokyo Michikazu Kojima, JETRO Institute of Developing Economies
Atsushi Terazono, National Institute of Environmental Studies
- poster1 F 1-3 Comparative Analysis on Global E-waste Management Strategies
Xianbing Liu, Masaru Tanaka, Okayama University
- poster1 F 1-4 Disposal and Recycling of Municipal Solid Waste in Metro Manila
Kevin Roy B. Serrona, Jeong-Soo Yu, Tohoku University
- poster1 F 1-5 The Need of Strategic Management of Healthcare Waste in Jakarta, Indonesia
Mochammad Chaerul, Masaru Tanaka, Okayama University
- poster1 F 2-1 PLANNING AND EVALUATION OF A GIS-BASED BIOMASS CIRCULATION SYSTEM IN KAWASAKI CITY
Looi-Fang Wong, Tsuyoshi Fujita, Hideaki Fujikake, Toyo University
- poster1 F 2-2 Determination of activation energy of dehydrochlorination reaction on Poly(Vinyl Chloride) by microwave irradiation
Saburo Moriwaki, Motoi Machida, Hideki Tatsumoto, Chiba University
- poster1 F 2-3 Selective Recovery of Gold() by Using Crosslinked Lignophenol Gel
Durga Parajuli, Katsutoshi Inoue, Masamitsu Funaoka, Saga University
- poster1 F 2-4 A Study on Decomposition Characteristics of Sewage Sludge by Pre-Treatment of Ozonization
Seung-Whee Rhee, Kyonggi University
- poster1 F 2-5 The optimal condition of thermal, ultrasonic and alkaline co-pretreatment for an enhanced acidogenic fermentation
Tae-Kyu Eom, Dong-Yueb Han, KyungSung University
- poster1 F 2-6 Recovery of Valuable Metals from Spent Zinc-Carbon Batteries in Sulfuric Acid Solution
Shun-Myung Shin, Jeong-Soo Shon, Dong-Hyo Yang,
Korea Institute of Geoscience & Mineral Resources

- poster1 F 2-7 Surface oxidation of adsorbent prepared from MSWI fly ash
Choon-Hee Shim, Young-Keun Kim, Woo-Keun Lee, Kangwon National University
- poster1 F 2-8 Recyclability Assessment of Slag generated from Gasification/Melting Processes
Hyun-Tae Joung, Jeong-Hun Kim, Yong-Chil Seo, Yonsei University
- poster1 F 2-9 Production and phenol adsorption capacity of activated carbons from cattle manure compost
Qingrong Qian, Motoi Machida, Hideki Tatsumoto, Chiba University
- poster1 F 2-10 Preparation of Chelating Adsorption Gel from Recycled Paper
Chaitanya Raj Adhikari, Daigo Fujiwara, Katsutoshi Inoue, Saga University
- poster1 F 2-11 Removal of Odorous Pollutants from Household Food Waste Treatment Process using a Biotrickling Filter
Sung-Ho Hong, Kyoung-Hee Kim, Jea-Keun Lee, Pukyong National University
- poster1 F 2-12 The effect of clay on the recycling of waste Polycarbonate/ABS polymer blends
Cheol-Ho Dan, Min-Ho Lee, Jeong-Ho Kim, University of Suwon
- poster1 F 2-13 Hydrothermal Treatment of Brominated Flame Retardant Plastic for Bromine and Plastic Recovery
Mihai Brebu, Thallada Bhaskar, Yusaku Sakata, Okayama University
- poster1 F 3-1 A HIGH TEMPERATURE REFORMER; It's application to gasification of carbonaceous wastes
Hyun-Yong Kim, WAGATEC
- poster1 F 3-2 The emission characteristics of mercury from waste incinerators
Kyu-shik Park, Ju-Hyoung Lee, Yong-chil Seo, Yonsei University
- poster1 F 3-3 Dioxin prediction model for CFD by the partial chemical equilibrium method
Kazui Fukumoto, Yoshifumi Ogami, Yoshinobu Yoshihara, Ritsumeikan University
- poster1 F 3-4 Stabilization of Alkali Melting Furnace Fly Ash: Correlation between Leachabilities of Heavy Metals and Chemical Composition
Ho-Jin Sung, Reiji Noda, Masayuki Horio, Tokyo University of Agriculture and Technology
- poster1 F 3-5 The effect of Ca ion and pH on leaching behavior of heavy metals from MSWI fly ash
Mi-Hee Jun, Sung-Keun Bae, Changwon National University
- poster1 F 3-6 Distributions of dioxins and heavy metals by particle size of MSWI bottom ash
Hee-Jong Kim, Sang-Yee Ham, Dong-Hoon Lee, University of Seoul
- poster1 F 3-7 Metals Leachability from Incineration Solid Residues of Medical Waste: a case study
Sukandar, Masaru Tanaka, Isao Aoyama, Okayama University
- poster1 F 4-1 COMPARATIVE STUDY ON THE INITIAL AND FINAL CONCENTRATION OF HUMIC SUBSTANCES IN A MSWIR LANDFILL'S LEACHATE IN A TREATMENT PLANT
Fabio G. Umesaki, Takayuki Shimaoka, Jung-Joon Lee, Kyushu University
- poster1 F 4-2 MCG Reinforced Landfill Liner System
Jae-Hyuk Hyun, Jang-Bin Bok, Won-Young Choi, Chungnam National University
- poster1 F 4-3 A study on reuse of the residual soil of completed landfill.
Keun-Min Park, Jai-Young Lee, Won-Ki O, The University of Seoul
- poster1 F 4-4 Characteristics of Leachate and Landfill Gas with Decomposition Condition of MSW in Lysimeters
Se-Il Yang, Seung-Whee Rhee, Kyonggi University
- poster1 F 4-5 Comparison of dynamic and static flux chamber methods for measuring surface emissions of methane and carbon dioxide by lab-scale test
Seong-Ho Jeon, Eun-Jeong Jeon, Dong-Hoon Lee, University of Seoul
- poster1 F 4-6 Methane emission from various sources in capped and operating landfill
Eun-Jeong Jeon, Dong-cheon Seo, Dong-Hoon Lee, University of Seoul
- poster1 F 4-7 MATERIAL FLOW AND RISK MANAGEMENT OF HAZARDOUS HEAVY METALS IN LANDFILL (MSW) (PART 2)
Lily Siska Handayani, Ayako Tachifuji, Yasushi Matsufuji, Fukuoka University
- poster1 F 4-8 Biobarrier Mixed with Wasted Tire Rubbers to Prevent the Migration of Leachate from Landfill
Jung-Hoon Kim, Jai-Young Lee, The University of Seoul
Byung-Taek Oh, Hallym University
- poster1 F 5-1 HEALTH HAZARDS OF HEALTH CARE WASTES
Ashok V. Shekdar, Masaru Tanaka, Okayama University

会場案内図（仙台国際センター）

懇親会会場は、
 仙台ワシントンホテルです。
 （p3 参照）

